

高知県立大学 健康栄養学部

学 部 報

第 16 号

令和 7（2025）年度

「学部報」第16号発刊にあたって

健康栄養学部長 近藤 美樹

近年、気候変動の深刻化に加え、国際情勢の不安定化やエネルギー・食料価格の高騰など、私たちの生活基盤を揺るがす事象が顕在化しています。とりわけ本学が位置する高知県においては、豪雨や台風による災害リスクの増大、農林水産業への影響、さらには人口減少や高齢化の進行といった課題が複合的に重なり、「食」と健康を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。これらは地域にとどまらず、我が国全体が直面する課題の縮図であるとも言えます。

このような状況下において、栄養および食生活の専門家には、地域の実情を踏まえながら課題を自ら見出し、主体的に解決へと導く力が求められています。本学部では、こうした力を涵養するため、学生主体の学びを重視した教育を推進しております。講義や実習に加え、地域と連携した活動を通じて、学生自身が課題に向き合い、試行錯誤を重ねながら実践的な知識と技能を身につけています。

特に、高知という地域社会の中で展開される学生の活動は、単なる学修の枠を超え、地域の健康課題や食環境の改善に直接的に関わる重要な取り組みとなっています。学生が主体的に関与するこれらの活動は、地域に新たな価値をもたらすと同時に、将来の専門職としての自覚と責任感を育む貴重な機会となっています。本学部は、こうした学生の主体的な取り組みを一層支援し、地域とともに成長する教育研究拠点であり続けたいと考えております。

さて、健康栄養学部「学部報」第16号をここに発刊いたします。本号では、学生の主体的な活動を含め、地域と密接に関わりながら展開している教育・研究の様子をご紹介します。限られた紙面ではございますが、本学部の取り組みとその意義をご理解いただければ幸いです。

今後とも、本学部の教育・研究活動に対し、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

健康栄養学部教育理念・目的

(理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

(目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

目 次

「学部報」第16号発刊にあたって	…… i
健康栄養学部教育理念・目的	…… ii

I. 学部の記録

1. 2025年度学生数一覧	…… 3
2. 長期在学・休学・退学の状況	…… 3
3. 健康栄養学部教員一覧	…… 3
4. 授業科目と教員配置	…… 4
5. 外部資金の導入	…… 6
6. 研究成果の公表の状況	…… 7
7. 国内外学会等への参加	……10
8. 講習会・公開講座	……14
9. 地域・学外の活動	……15
10. リ・デザインプロジェクト	……19
11. 国際交流活動	……22
12. 管理栄養士国家試験対策委員会	…26
13. 学部就職支援	……30
14. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 研修会	……34
15. 高知医療センター・高知県立大学包 括的連携協議会 健康栄養連携部会 事業	……35
16. 委員会一覧	……37
17. 入学試験状況の概要（2025年度）	……38
18. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス・出前授業状況	……38

II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	……42
2. 教育における学外施設の利用状況	……43
3. 資格所得状況の概要	……43
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）	……44
5. 就職状況の概要	……44
6. インターンシップの実施状況	……44
7. 学生の海外研修等	……44
8. 卒業研究題目一覧	……45
9. 学生の受賞	……46
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	……47

III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 渡邊 浩幸	……51
2. 小林 淳	……53
3. 近藤 美樹	……55
4. 島田 郁子	……58
5. 鈴木 麻希子	……61
6. 竹井 悠一郎	……63
7. 西岡 道子	……66
8. 隅田 有公子	……67
9. 竹本 和仁	……69
10. 村井 詩子	……71
11. 井治 賢希	……73
12. 小山 智久	……75
13. 杉本 拓海	……77
14. 山岡 伸	……80
15. 彼末 富貴	……81

I. 学部の記録

1. 2025 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. リ・デザインプロジェクト
11. 国際交流活動
12. 管理栄養士国家試験対策委員会
13. 学部就職支援
14. ファカルティ・ディベロップメント（FD）研修会
15. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会業務
16. 委員会一覧
17. 入学試験状況の概要（2026 年度）
18. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス・出前授業状況

1. 2025 年度学生数一覧

() 内：男子

在学生数					科目等履修生
1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	合計	
45 (2)	40 (4)	40 (3)	42 (2)	167	0

2. 長期在学・休学・退学等の状況 (2025 年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7 年)
1	2	0

3. 健康栄養学部教員一覧

職 名	氏 名	専門分野 (担当科目)
教 授 (学部長)	渡邊 浩幸	食品学
教 授	小林 淳	社会・環境と健康
教 授	近藤 美樹	栄養教育論
准教授	島田 郁子	給食経営管理
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	竹井 悠一郎	臨床栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講 師	隅田 有公子	食と介護・臨床栄養学実習
講 師	竹本 和仁	食品学
講 師	村井 詩子	公衆栄養学
助 教	井治 賢希	食品衛生学・食品衛生学実験・食品学実験等
助 教	小山 智久	給食経営管理実習・栄養教育論実習等
助 教	杉本 拓海	応用栄養学実習・健康情報論実習等
助 教	山岡 伸	生化学実験・臨床栄養学実習等
助 手	彼末 富貴	調理学実習

4. 授業科目と教員配置

他学部教員・下線 非常勤・(非)

科目名	担当者
基礎科目	
健康栄養学基礎	渡邊浩幸, 竹本和仁, 小山智久, 杉本拓海, 山岡伸
健康栄養学応用	竹本和仁, 隅田有公子, 井治賢希, 杉本拓海, 山岡伸
社会・環境と健康	
地域健康論	小林淳
介護論	村井詩子, 隅田有公子, <u>辻真美</u> , <u>田中真希</u>
食と介護	隅田有公子
保健医療福祉論	<u>田中きよむ</u>
地域医療論	小林淳
公衆衛生学	小林淳
環境衛生学実習	小林淳
健康情報論実習	村井詩子
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	
生化学Ⅰ	小林淳
生化学Ⅱ	竹本和仁, 竹井悠一郎, 渡邊浩幸, 鈴木麻希子, 井治賢希, 小山智久, 杉本拓海, 山岡伸
生化学実験	小林淳
人体の構造と機能Ⅰ	(非) 田中健二郎
人体の構造と機能Ⅱ	(非) 田中健二郎
疾病論Ⅰ	(非) 田村太郎, (非) 菅沼成文, (非) 森部玲子
疾病論Ⅱ	(非) 田村太郎, (非) 菅沼成文, (非) 森部玲子
運動生理学	(非) 片山訓博
生体科学実験・実習	渡邊浩幸, 竹井悠一郎, 竹本和仁, 小山智久, 杉本拓海, 山岡伸, (非) 秋山純和

科目名	担当者
食べ物と健康	
食品学	渡邊浩幸, 竹本和仁
食品学実験Ⅰ	渡邊浩幸, 竹本和仁
食品学実験Ⅱ	渡邊浩幸, 竹本和仁
食材学	渡邊浩幸, 竹本和仁
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸, 竹本和仁
食品衛生学	渡邊浩幸, 竹本和仁
食品衛生学実験	渡邊浩幸, 竹本和仁
フードシステム学	(非) 河野俊夫
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
基礎栄養学	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
応用栄養学	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ栄養学	鈴木麻希子
栄養教育論	
栄養教育論Ⅰ	近藤美樹, 隅田有公子
栄養教育論Ⅱ	近藤美樹
栄養教育論Ⅲ	近藤美樹
栄養教育論実習Ⅰ	近藤美樹, 隅田有公子
栄養教育論実習Ⅱ	近藤美樹
学校栄養指導論Ⅰ	近藤美樹, 隅田有公子
学校栄養指導論Ⅱ	近藤美樹
臨床栄養学	
臨床栄養学Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅱ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅲ	竹井悠一郎
臨床実践栄養学	竹井悠一郎, 隅田有公子
臨床栄養学実習Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学実習Ⅱ	竹井悠一郎, 隅田有公子

科目名	担当者
公衆栄養学	
公衆栄養学Ⅰ	村井詩子
公衆栄養学Ⅱ	村井詩子
地域公衆栄養学実習	村井詩子
給食経営管理論	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
総合演習	
管理栄養士総合演習Ⅰ	竹井悠一郎, 島田郁子, 村井詩子
管理栄養士総合演習Ⅱ	専任教員

科目名	担当者
臨地実習	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	竹井悠一郎
地域公衆栄養学臨地実習	村井詩子
地域実践栄養学臨地実習	村井詩子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 隅田有公子
その他	
企業実習 健康栄養フィールドワーク HACCP 管理論	学年担当教員 島田郁子 渡邊浩幸
課題研究	
卒業研究	各専任教員

5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
令和 3(2021)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：21K11704	経腸栄養剤の粘性付加に関する検討	隅田有公子	竹井悠一郎	2021.4 ～ 2026.3	総額 4,030 千円
令和 3(2021)年度科学研究費基金【若手研究】 課題番号：21K17300	植物性食品および食塩に着目した健康的な日本食パターンの構築とがん罹患との関連	村井詩子		2021.4 ～ 2026.3	総額 4,550 千円
令和 4(2022)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：22K11267	慢性閉塞性肺疾患患者の再入院予防の地域病院多職種協働型入退院支援ガイドライン開発	森下安子	竹中英利子, 森下幸子, 川上理子, 源田美香, 隅田有公子, 中井美喜子, 山本かよ	2022.4 ～ 2026.3	総額 4,160 千円
令和 6(2024)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：24K05555	アントシアニン含有「藤野菜」の高付加価値化を目指した研究：色素および機能の解析	近藤美樹		2024.4 ～ 2027.3	総額 4,550 千円
令和 6(2024)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：24K13621	ラオスにおける顧みられない熱帯病(NTDs)の1つ、タイ肝吸虫予防対策のための児童教育	笹岡晴香	吾妻健, 島田郁子	2024.4 ～ 2026.3	総額 3,000 千円
令和 6(2024)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：24K14202	全被災者の安否・健康状態を把握し共有する仕組み COACHES 実証研究	木下真里	稲葉基高, 江川孝, 島田郁子	2024.4 ～ 2026.3	総額 3,000 千円
令和 7(2025)年度科学研究費基金【基盤研究(C)】 課題番号：25K14937	腸管および血管破骨細胞様細胞のキャラクタライゼーションと臓器障害に関する研究	竹井悠一郎		2025.4 ～ 2029.3	総額 4,680 千円
令和 7(2025)年度科学研究費基金【若手研究】 課題番号：25K21004	骨格筋由来サイトカインによる他臓器への影響の解明	杉本拓海		2025.4 ～ 2029.3	総額 4,810 千円
内閣府(地方大学・地域産業創生交付金)	“IoP (Internet of Plants)”が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化	受田浩之	渡邊浩幸 他	2023～	
公益信託高知新聞・高知放送「生命(いのち)の基金」令和5年度研究助成	加工食品の摂取実態とリン摂取量が腎機能に及ぼす影響	鈴木麻希子	久保田聡美, 我如古菜月, 隅田有公子	2024.4 ～ 2026.3	1,000 千円
高知県立大学	フレイルの多面性に着目した生活習慣とフレイルの関連の検討 -フレイル予防からはじまる健康のリ・デザインプロジェクト	立木隆弘	島田郁子	2025	600 千円
高橋経済産業研究財団	日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)に求められる新たな支援ニーズの検討	須藤紀子	島田郁子	2025	1,500 千円

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
一般財団法人 高銀地域経済振興財団助成：「令和 6 年度 研究課題等に関する助成金」	高知県産果実の近赤外分析法による品質管理技術の確立	井治賢希		2025	200 千円
2025 年度 日本栄養・食糧学会 学術基金「国際交流助成」	Anti-obesity effects of acylated sterol-β-glycosides in high-fat/high-sucrose diet-induced obese mice.	井治賢希		2025	300 千円
2025 年度 日本栄養・食糧学会 学術基金「国際交流助成」	The transcriptional co-activator PGC1α in skeletal muscle mediates the anti-obesity effects of soy isoflavones	杉本拓海		2025	300 千円

6. 研究成果の公表の状況

(1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行年
Jun Kobayashi, Nayumi Ohta, Nene Tadokoro, Keiichi Ikeda	Variations in the microbial contamination of disinfectant bottles established during COVID-19 based on their location and operation mode	<i>International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research</i>	31(4), 436-444	2025
Jun Kobayashi, Fumise Hashidume, Wakana Watanabe	Survey of atmospheric environment in classrooms assuming university lectures	<i>Journal of Current Pharma Research</i>	21(5), 15-26	2025
Jun Kobayashi, Anzu Yasue, Amiri Hirose, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama	Determination of microbial contamination on restroom floors in a university building	<i>International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research</i>	31(10), 365-372	2025
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Should books continue to be printed?	<i>International Journal of Science & Research Methodology</i>	28(11), 19-24	2025
Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda	Does starting a meal with vegetables boost wellness?	<i>International Journal of Science & Research Methodology</i>	28(12), 1-4	2025
Ryosuke Misawa, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Luo Hao, Akari Koresawa, Hiroyuki Watanabe	Utility of mast cell P815 for evaluating FcεRI-dependent and FcεRI-independent allergic effects	<i>Allergol Immunopathol (Madr)</i>	53(4), 119-127	2025
Seiya Tanaka, Tetsujiro Matsui, Riho Murata, Aya Yoshinaga-Kiriake, Kazuaki Yoshinaga, Fumiaki Beppu, Hiroyuki Watanabe, Naohiro Gotoh	Development of a Method for in vivo Direct Monitoring of Stored Fat Burning Using Stable Isotope-labeled Fatty Acids	<i>Journal of Oleo Science</i>	74(4), 423-428	2025

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行年
Utako Murai, Junko Ishihara, Ribeka Takachi, Kumiko Kito, Yuri Ishii, Kazumasa Yamagishi, Manami Inoue, Taiki Yamaji, Motoki Iwasaki, Shoichiro Tsugane, Norie Sawada, JPHC Study Group	Japanese Diet Index Score and Cause-Specific Mortality in Japanese Men and Women: The Japan Public Health Center-Based Prospective Study	<i>The Journal of Nutrition</i>	155(11), 3726-3736	2025
Kiyoshi Yoshioka, Takumi Sugimoto, Mamoru Oyabu, Naoki Ito, Aoi Kodama, Yasutomi Kamei, Shin-ichiro Imai	Human plasma-derived eNAMPT-containing extracellular vesicles promote NAD ⁺ biosynthesis and thermogenesis in mice	<i>npj Aging</i>	11(1), 106	2025
鈴木麻希子, 小野田結衣	卵白アレレルゲン「リポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素」の消化性と酵素活性	日本栄養・食糧学会誌	78(3), 161-171	2025
鈴木麻希子, 大下永愛, 竹本和仁	BG 無洗米と精白米のリン・カリウム含有量に洗米が及ぼす影響	栄養学雑誌	83(5), 223-229	2025

(2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
加藤雅彦, 内田明彦, 小林淳 他 (分担執筆)	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛護・適正飼養関連法規, 一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 編, 改訂第2版第6刷	171-214	EDUWARD Press	2025
竹井悠一郎, 隅田有公子, 山之内大	BIO Clinica	75-79	北隆館	2025
竹井悠一郎, 隅田有公子, 山之内大	アレルギーリウマチ性疾患	43-47	北隆館	2026
中山玲子, 小切間美保, 神田智子, 島田郁子 他	給食経営管理論 第6版 第9章	161-172	化学同人	2026

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
近藤 美樹	フキの新機能である血糖値上昇抑制作用の解析及び糖尿病対策への活用に向けた基礎研究	1-7	科学研究費助成事業研究成果報告書, 日本学術振興会, 国立情報学研究所	2025
近藤 美樹	アントシアニン含有「藤野菜」の高付加価値化を目指した研究: 色素および機能の解析	1-3	科学研究費助成事業研究成果報告書, 日本学術振興会, 国立情報学研究所	2025
竹井悠一郎	高知ユナイテッドSCジュニアユース選手への食育支援	28-29	栄養士佐はちきん第45巻, 高知県栄養士会	2025

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
吉岡潔志, 杉本拓海, 大藪葵, 伊藤尚基, 亀井康富, 今井眞一郎	ヒト血漿由来NMN合成酵素eNAMPT 投与によるマウス脳・視床下部への作用 -抗老化医療への応用を目指して-	146-146	基礎理学療法学	2025
杉本拓海	お腹が空いたらチャンス！みんなができる最強サポート “補食”		Jr. Athlete Shizuoka, 株式会社ダイワジュニアアスリート静岡編集部	2025
山岡伸	災害時に緊急的に飲料水を確保するために雪解け水を摂取するための方法の検討	59-63	食生活研究 45(5)	2025
小林 淳	亡き母との思い出	24-28	Humanismus	2026

7. 国内外学会等への参加

(1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Ikuko Shimada	Strengthen shikoku interregional cooperation! Report on shikoku region disaster preparedness coordination workshop	World Association for Disaster and Emergency Medicine (WADEM)	Tokyo	2025. 5. 2-6
Miki Hiemori-Kondo and Yuu Kayaki	Antioxidant effects of the acidic ethanol extract of purple cauliflower (<i>Brassica oleracea L. var. botrytis</i>)	23rd International Congress of Nutrition of International Union of Nutritional Sciences	Paris	2025. 8. 24-29
Masaki Iji, Kuniyuki Yamada, Yuta Yamane, Chihiro Watanabe, Kazuhito Takemoto, Mamoru Tanaka, Yuichiro Takei, Yoichi Miura, Hiroyuki Watanabe	Effects of acylated steryl- β -glycosides on body fat and lipid metabolism in high-fat, high-sucrose diet-induced obese mice	23rd International Congress of Nutrition of International Union of Nutritional Sciences	Paris	2025. 8. 24-29
Takumi Sugimoto, Tokushi Kimura, Mamoru Oyabu, Ran Uchitomi, Shiho Nakai, Yasutomi Kamei	The transcriptional co-activator PGC1 α in skeletal muscle mediates the anti-obesity effects of soy isoflavones	23rd International Congress of Nutrition of International Union of Nutritional Sciences	Paris	2025. 8. 24-29
Ikuko Shimada, Chiaki Shimazaki, Masako Chikada, Kokoa Tamura, Tomohisa Koyama, Tomoko Hirouchi and Takahiro Tachiki	Vitamin D intake among middle-aged and elderly individuals in K Prefecture, aiming to preventing frailty	International conference on food security 2025	Kuala Lumpur (online)	2025. 11. 12

(2) 国内学会開催

第 10 回 日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知市, 2025 年 6 月 21 日, 大会長 近藤美樹

第 58 回日本得栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 高知市, 2025 年 11 月 8~9 日, 大会長 渡邊浩幸

(3) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
近藤（比江森）美樹, 榎木悠	紫カリフラワー抽出物の鉄誘発性酸化ストレスに対する効果	第 79 回大会日本栄養・食糧学会	名古屋	2025. 5. 23~25
小柳彩華, 近藤（比江森）美樹	フキ抽出物の抗糖化作用	第 79 回大会日本栄養・食糧学会	名古屋	2025. 5. 23~25
鈴木麻希子, 小野田結衣	齢と高脂肪食が脳皮質の糖代謝に及ぼす影響	第 79 回日本栄養・食糧学会大会	名古屋	2025. 5. 23~25

発表者	題目	学会名	場所	開催日
竹本和仁, 安岡優香, 羅昊, 三澤伶輔, 小山智久, 井治賢希, 渡邊浩幸	マウス骨格筋細胞 C2C12 株の脂肪酸添加培養による脂肪蓄積性について	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
井治賢希, 竹本和仁, 小山智久, 羅昊, 三澤伶輔, 渡邊浩幸	高脂肪高ショ糖食マウスへのアシル化ステロール配糖体投与による視床下部の FGF21 signaling 亢進と体脂肪量蓄積抑制作用との関係	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
門脇愛美, 井治賢希, 竹本和仁, 小山智久, 渡邊浩幸	近赤外分光法による Low-methoxy (LM) ペクチンゲルの硬度測定	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
小山智久, 竹本和仁, 井治賢希, 三澤伶輔, 羅昊, 渡邊浩幸	小麦粉ドウの食塩濃度の違いによる硬度変化と近赤外線スペクトルの変化—高純度グルテニン・グリアジン混合との比較—	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 小山智久, 羅昊, 渡邊浩幸	クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
前田律子, 竹本和仁, 三澤伶輔, 羅昊, 門脇愛美, 長崎佳保里, 井治賢希, 小山智久, 渡邊浩幸	イタドリ茎部が食物アレルギーモデルマウスに与える影響	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
杉本拓海, 坪井知恵, 関川達志, 横山さや香, 安藤石海, 田中守, Xiaohua Lyu, 横山信治, Rui Lu	中国四川省の微生物発酵茶による動脈硬化抑制の作用機序の解明	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 三浦進司, 亀井康富	骨格筋における転写共役因子 PGC1 α の新規標的遺伝子の探索	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
山岡伸	海塩と比較して山塩がマウスの血圧にもたらす影響	第 79 回日本栄養・食糧学会	愛知	2025. 5. 23～25
松田美沙, 榎木悠, 近藤（比江森）美樹	酸化誘導マウスにおける紫カリフラワー抽出物の抗酸化効果	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
中城仁暉, 竹井悠一郎, 山之内大	糖尿病高血糖が血管破骨細胞様細胞の形成を阻害させ、動脈瘤形成を抑制する。	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
隅田有公子, 児島結愛, 山本響香, 竹井悠一郎	経腸栄養剤を使用したとろみ液の物性評価	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
村井詩子, 太田舞花, 原菜月, 山口真優	ナトリウム・カリウム比とエネルギーや栄養素摂取量との関連	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
田中千尋, 隅田有公子, 竹本和仁, 井治賢希, 彼末富貴, 渡邊浩幸	食でつながる集いの場づくりを目指す実践活動報告	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
山岡伸	日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）の 2025 年 4 月時点での研究への活用の調査	第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会	高知	2025. 6. 21
佐久間直緒美, 香西はな, 島田郁子	630 食の学校給食施設作業におけるきのこの水洗い後の重量変化	第 72 回日本栄養改善学会学術総会	東京	2025. 9. 12～14

発表者	題目	学会名	場所	開催日
鈴木麻希子, 奥村風香, 篠崎文葉, 廣元理奈, 柳本麻衣, 吉村真彩, 隅田有公子, 伊藤瑞月, 小島望知, 松田千愛	リン摂取量が腎機能に及ぼす影響～製品ごとに異なる加工肉由来のリン量を考慮した解析～	第72回日本栄養改善学会学術総会	東京	2025. 9. 12～14
石上まりの, 堀尾郷介, 北辻耕司, 水上健一, 杉本拓海, 田中守, 甲田道子	運動前の糖質摂取が大学サッカー選手のパフォーマンスおよび主観的疲労感に及ぼす影響	第72回日本栄養改善学会学術総会	東京	2025. 9. 12～14
隅田有公子, 児島結愛, 山本響香, 竹井悠一郎	増粘剤と経腸栄養剤の組み合わせによりとろみ液の物性評価	第72回日本栄養改善学会学術総会	東京	2025. 9. 12～14
生川卓弘, 福井綾音, 田中ひかり, 小林 淳, 有田真理	甘味料の種類による嗜好性及び機能性への影響～5種類の甘味料による比較～	第72回日本栄養改善学会学術総会	東京	2025. 9. 12～14
小柳彩華, 近藤（比江森）美樹	高脂肪高ショ糖食給餌マウスの生化学マーカーに及ぼすフキ抽出物の影響	日本農芸化学会 2025年度 関西・中四国・西日本支部合同大会	岡山	2025. 9. 18～19
木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 大藪葵, 三浦進司, 亀井康富	転写共役因子 PGC1 α は骨格筋において脂肪合成酵素 Dgat2 の遺伝子発現を増加させる	日本農芸化学会 2025年度 関西・中四国・西日本支部合同大会	岡山	2025. 9. 18～19
小林 淳, 安江 杏, 廣瀬杏未梨, 池田啓一, 杉山英男	大学内トイレ床面における微生物汚染状況調査	日本分析化学会第74年会	北海道	2025. 9. 24～26
島田郁子, 永井風歌, 鉦崎ひかる, 芦田真子, 島崎千昌, 田村心愛, 近田雅子, 古谷あかり, 小山智久	大量調理実習における厨房内温湿度の変化と調理機器の影響	第71回日本家政学会 中国・四国支部研究発表会	広島	2025. 10. 5
佐久間直緒美, 香西はな, 布川美穂, 島田郁子	油抜きは“勘”から“科学”へー600食の実調査から見た調理工程の標準化ー	第20回日本給食経営管理学会学術総会	埼玉	2025. 10. 11～12
小山智久, 鉦崎ひかる, 島崎千昌, 田村心愛, 近田雅子, 永井風歌, 古谷あかり, 芦田真子, 島田郁子	給食経営管理実習におけるリスクマネジメント報告の分析	第20回日本給食経営管理学会学術総会	埼玉	2025. 10. 11～12
佐藤友紀, 桑原菜緒, 馬込千帆, 妹尾奈波, 古谷亮太, 田村優樹, 三好規之, 杉本拓海, 亀井康富, 佐々木雄彦, 佐々木純子, 進藤英雄, 清水孝雄, 三浦進司	持久運動トレーニング×リノール酸摂取による相乗的な骨格筋リン脂質クオリティ変化と持久運動能力の向上	第72回 中部日本生理学会	静岡	2025. 10. 17～18
吉岡潔志, 杉本拓海, 大藪葵, 伊藤尚基, 亀井康富, 今井眞一郎	ヒト血漿由来 NMN 合成酵素 eNAMPT 投与によるマウス脳・視床下部への作用ー抗老化医療への応用を目指してー	第30回日本基礎理学療法学会学術大会	大分	2025. 10. 17～18

発表者	題目	学会名	場所	開催日
森温子, 別府朋加, 笹岡晴香, 島田郁子, 椋清美, Chansamone Thanabousay, Nanthasane Vannavong, Weerachai Saijuntha, Naruemon Bunchom, 石上盛敏, 吾妻健	2023 年度ラオスにおける顧みられない熱帯病に関する住民調査報告	第40回日本国際保健医療学会学術総会	東京	2025. 11. 1～2
木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 大藪葵, 三浦進司, 亀井康富	骨格筋において転写共役因子 PGC1 α は脂肪合成酵素 Dgat2 の遺伝子発現を増加させる	第64回 日本栄養・食糧学会 近畿支部大会	大阪	2025. 11. 8
松田美沙, 榎本悠, 近藤 (比江森) 美樹	酸化誘導マウスの抗酸化酵素活性に及ぼす紫カリフラワー抽出物の影響	第58回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会	高知	2025. 11. 8～9
小柳彩華, 松田美沙, 近藤 (比江森) 美樹	フキの葉抽出物の糖質・脂質吸収抑制効果	第58回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会	高知	2025. 11. 8～9
三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 羅昊, 渡邊浩幸	クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響	第58回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会	高知	2025. 11. 8～9
谷村菜々香, 松浦由依, 秋森叶羽, 福島瑞葵, 吉田奈緒子, 戸田夕芽, 鈴木麻希子	ヒト乳がん細胞 (MCF-7) における PRMT4 発現抑制による増殖抑制機構	第58回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会	高知	2025. 11. 8～9
吉村亮二, 真境名拓馬, 隅田有公子, 竹井悠一郎	ロイシンとグルタミン同時摂取による相乗的筋タンパク質合成促進作用へのインスリンの寄与に関する研究	日本アミノ酸学会 第19回学術大会	愛知	2025. 11. 23～24
杉本拓海, 畑澤幸乃, 三浦進司, 亀井康富	骨格筋 PGC1 α の発現増加によるアミノ酸動態と血液中の代謝産物の変化	日本アミノ酸学会 第19回学術大会	愛知	2025. 11. 23～24
小柳彩華, 松田美沙, 近藤 (比江森) 美樹	フキ (<i>Petasites japonicus</i>) の葉抽出物の糖質・脂質吸収抑制効果	日本農芸化学会 2026 年度大会	京都	2026. 3. 9～12
杉本拓海, 横山さや香, 菊池天音, 田中守	食用サボテン摂取による脂質代謝改善効果の分子メカニズム解明	日本農芸化学会 2026 年度大会	京都	2026. 3. 9～12
小林 淳, 安江 杏, 廣瀬杏未梨, 池田啓一, 杉山英男	トイレ床面における微生物汚染状況調査	日本薬学会第146年会	大阪	2026. 3. 26～29
小島健志, 木下康太郎, 池田啓一, 中内悠帆, 布島未葵, 刀祢重信, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 松本 孝, 山倉文幸	トリプトファン代謝物のペルオキシナイトライトとの反応生成物の分析	日本薬学会第146年会	大阪	2026. 3. 26～29

8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
令和7年度 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の支援」	隅田有公子	高知県立大学	2025. 7. 3 2025. 12. 11	高知県立大学	看護師
オープンキャンパス 災害について	島田郁子	高知県立大学	2025. 7. 26	池キャンパス	高校生
令和7年度 入退院支援事業 第5回多職種協働研修	隅田有公子	高知県立大学	2025. 9. 11	高知城ホール	医療職
新任期行政栄養士研修会（前期）	村井詩子	高知県	2025. 6. 18	高知県保健衛生総合庁舎	新任期行政栄養士
高知県立大学健康栄養学部 FD 研修会	竹井悠一郎	高知県立大学健康栄養学部	2025. 10. 1	高知県立大学池キャンパス	学部教員
第98期高知市民の大学 災害食が必要な理由	島田郁子	高知市	2025. 10. 24	高知市文化プラザかるぽーと	一般市民
令和7年度 高知県立大学地域共生学研究機構シンポジウム	隅田有公子	高知県立大学	2025. 11. 7	高知県立大学	一般
第98回高知市民の森大学	村井詩子	高知市文化振興事業団	2025. 11. 7	高知市文化プラザかるぽーと	一般
令和7年度高知県行政栄養士等育成研修会	村井詩子	高知県	2025. 11. 11	高知城ホール	行政栄養士
新任期行政栄養士研修会（後期）	村井詩子	高知県	2025. 12. 2	高知県保健衛生総合庁舎	新任期行政栄養士
高校生のための公開講座「県大立志塾2025」第3回「10代の食生活によって実現する将来の骨太生活」	鈴木麻希子	高知県立大学	2025. 12. 20	高知県立大学永国寺キャンパス	高校生
令和7年度域学共生連携拡大会議	竹井悠一郎	高知県立大学地域教育研究センター	2025. 12. 23	高知県立大学永国寺キャンパス	一般
県民大学公開講座「高知県特産品の高付加価値化～知らなかったイタドリのいいところ～」	竹本和仁	地域教育研究センター	2026. 1. 12～1. 25	オンデマンド	一般
いきいきセカンド☆ライブ講座	村井詩子	高知市文化振興事業団	2026. 1. 14	高知市文化プラザかるぽーと	一般
産業保健研修会	村井詩子	高知産業保健総合支援センター	2026. 3. 12	総合あんしんセンター	産業医・保健師等
HACCP 管理者 HACCP 講座（学内講習会）	竹本和仁、井治賢希	高知県立大学健康栄養学部	2025. 3. 25～27	高知県立大学	健康栄養学部学生

9. 地域・学外の活動

(1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
日本の災害対応と災害食について	島田郁子	インドネシア チプトラ大学	2025. 3. 19	インドネシ アチプトラ 大学	インドネシ ア人大学生
2年間の成長を確かめる総復習 とこれからの夏に向けて一水分 補給の大切さ	杉本拓海 ほか	FC KAWAGUCHI	2025. 5. 11	鳩ヶ谷市民 センター	中学生
栄養ケア・ステーション事業 こ うちの食材を使った料理、伝統の 郷土料理などを普及するための 料理教室	彼末富貴	高知県栄養士 会	2025. 5. 15、 8. 6, 12. 15	とさのさと キッチンプ ラス	一般
高知市いきいき健康チャレンジ 2025 応援講座～栄養編～	竹井悠一郎	高知市健康増 進課	2025. 7. 5	高知市総合 あんしんセ ンター	一般
高知市学校給食調理等業務プロ ポーザル選定委員会	島田郁子	高知市	2025. 7. 9 2025. 10. 31	総合あんし んセンター	学校給食関 係者
くらしの植物教室「食からミョウ ガを知る～田舎寿司づくり～」	彼末富貴	高知県立牧野 植物園	2025. 7. 12	牧野植物園	一般
食べ方で変わる！最高のパフォー マンスの作り方～持久力・筋肉 力の向上、コンディションの調整 ～	杉本拓海 ほか	FC KAWAGUCHI	2025. 7. 13	鳩ヶ谷市民 センター	中学生
四国地区災害対策連携会議（研修 会）	島田郁子	四国四県栄養 士会	2025. 7. 27	総合あんし んセンター	栄養士会会 員
SP 模擬患者実習 （医療コミュニケーション実 習）	島田郁子	高知大学医学 部	2025. 7. 29	高知大学医 学部	医学部学生
高知県栄養士会生涯学習研修会 「食事摂取基準 2025 年版の理解 と活用」	鈴木麻希子	高知県栄養士 会	2025. 8. 3	高知県立大 学	栄養士、管理 栄養士、管理 栄養士養成 課程の学生
災害時の食事をどうする？ 愛 南町防災教育プログラム	島田郁子	愛媛県愛南町 立福浦小学校	2025. 8. 8	愛媛県愛南 町	愛南町民 慶応大学お よび愛媛大 学学生
高知の産業で変えよう、高知県内 の経済的貧困やそれ以外のかた ちの貧困	田中きよ む, 井治賢 希	第2回コロボ ラサロン	2025. 8. 18	高知県産学 官民連携セ ンター「コ コブラ」	一般
共同調理場における BCP につい ての職員研修会 災害との向き 合い方を考える	島田郁子	高知県学校給 食共同調理場 協議会	2025. 8. 22	ちより街テ ラス会議室	学校給食関 係者
土佐FBC人材創出事業（食品機 能学）	渡邊浩幸	高知大学	2025. 9. 1	高知大学 FBC（遠隔）	高知大学 FBC
災害食調理と講義	島田郁子	高知市三里地 区サロン活動 継続支援プロ ジェクト	2025. 9. 10	池キャンパ ス	三里地区住 民および教 職員
栄養管理研修会	島田郁子	町田市	2025. 9. 12	町田市役所	町田市給食 関係者
高知県栄養士会 新人研修会	竹井悠一郎	高知県栄養士 会	2025. 9. 15	高知市総合 あんしんセ ンター	高知県栄養 士会会員
高知県調理師試験準備講習会「栄 養学」「食文化概論」	西岡道子, 彼末富貴	高知県食品衛 生協会	2025. 9. 17	高知城ホー ル	一般

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
食育について	島田郁子	南国市	2025. 9. 18	南国市上下水道局2階会議室	南国市保育所給食関係者
島根県栄養士会生涯教育研修会	島田郁子	島根県栄養士会	2025. 9. 21	オンライン	島根県栄養士会会員
日本栄養士会 JDA-DAT リーダー育成・スキルアップ研修	島田郁子 日本栄養士会運営委員	公益社団法人 日本栄養士会	2025. 10. 12, 10. 13	岡山県生涯学習センター	日本栄養士会会員
高知医療センター災害合同訓練	島田郁子 災害プロジェクト	高知県立大学	2025. 10. 19	池キャンパス	教職員
防災士養成講座	島田郁子	高知県主催	2025. 10. 19, 10. 26, 11. 16, 12. 14	香南市 田野町 四万十市 高知市	高知県民
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「飲料水の作り方」	小林淳	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 10. 3	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「各栄養素のはたらきとバランスよく摂ることの意義」	鈴木麻希子	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 10. 10	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「保健機能食品の意味と使い方」	近藤美樹	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 10. 17	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「災害食が必要な理由」	島田郁子	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 10. 24	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「日本人の栄養状態の問題と課題」	村井詩子	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 11. 7	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「栄養管理の実践」	隅田有公子	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 11. 14	高知市文化プラザかるぽーと	一般
第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」 「高齢期の後期に備えた栄養管理」	竹井悠一郎	高知市民の大学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振興事業団 高知市	2025. 11. 21	高知市文化プラザかるぽーと	一般

高知県栄養士会生涯学習研修会 「食事摂取基準 2025 年版の理解 と活用」オンデマンド配信	鈴木麻希子	高知県栄養士 会	2025. 11. 30 ～2026. 1. 12	高知県立大 学	栄養士、管理 栄養士、学生
土佐の雑煮の学習	彼末富貴	高知市立潮江 東小学校	2025. 12. 5	潮江東小学 校	潮江東小学 校 5 年生
安芸市学校給食センター運営委 員会	島田郁子	安芸市教育委 員会	2025. 12. 23	安芸市学校 給食センタ ー	学校給食関 係者
第 98 期 高知市民の大学 総合 コース「高知発！食と健康」 「アレルギーの仕組みと対応」	竹本和仁	高知市民の大 学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振 興事業団 高知市	2026. 1. 9	高知市文化 プラザかる ぽーと	高知市民
ソーレまつり「親子でご飯づく り」	彼末富貴	男女共同参画 ポレール	2026. 1. 25	こうち男女 共同参画セ ンター「ソ ーレ」	親子
第 98 期 高知市民の大学 総合 コース「高知発！食と健康」 「食料需要の増加に伴う食料供 給」	渡邊浩幸	高知市民の大 学運営委員会 公益財団法人 高知市文化振 興事業団 高知市	2026. 1. 30	高知市文化 プラザかる ぽーと	高知市民

(2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
管理栄養士国家試験 準 備講習会（全国統一模擬 試験，国家試験対策特別 講座）	村井詩子，ほか	高知県栄養士会	2025. 5. 17, 6. 7, 7. 19, 9. 13, 11. 1 5, 2026. 1. 12, 2. 11	高知県立大学池 キャンパス
大学出前講座 「土佐の 伝統食について」	彼末富貴	高知県立農業高校	2025. 7. 10	農業高校
大学出前講座 生産量日 本一の県民として知りた い生姜のこと	渡邊浩幸	高知農業高校	2025. 07. 11	高知農業高校
大学出前講座 災害と向 き合うには	島田郁子	高知県立安芸高等学 校	2025. 7. 15	高知県立安芸高 等学校
健康長寿研究センター事 業 つながる保健室（in 四 万十町）	杉本拓海 塩見理香 辻真美 乾由美	高知県立大学 健康長寿研究センタ ー	2025. 9. 26	四万十町十和地 域振興局 2 階大 ホール
健康長寿研究センター事 業（健康まつり）	杉本拓海 辻真美	高知市老人クラブ連 合会・三里ブロック	2025. 10. 5	高知市三里文化 会館
飲み水の作り方	小林 淳	高知県立四万十高校	2025. 10. 15	高知県立四万十 高校
とさのだしフェス第5節 高知県立大学ブース	山岡伸 井治賢希 彼末富貴 隅田有公子 杉本拓海 竹本和仁 渡邊浩幸	とさのだしフェス実 行委員会	2025. 11. 15 ～16	とさのさと AGRI COLLETT0

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
高知医療センター・高知県立大学包括連携事業 生活習慣病予防のための料理教室	隅田有公子 竹本和仁 井治賢希 小山智久 杉本拓海 山岡伸	高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会	2025. 11. 29	高知県立大学
健康長寿研究センター事業 つながる保健室（第14回みさとフェア）	隅田有公子 杉本拓海	三里みらい会議	2025. 11. 30	十津小学校
大学出前講座 「部活の試合で負けない体作りについてー補食編ー」	杉本拓海	宿毛高校	2025. 12. 22	宿毛高校
こうちティーンズベース お菓子作り	彼末富貴	高知県立大学	2026. 1. 23	高知県立大学永国寺キャンパス

10. リ・デザインプロジェクト

渡邊浩幸，隅田有公子，竹本和仁，井治賢希，杉本拓海，彼末富貴

（１）事業概要

令和6年度より高知県立大学のリ・デザイン プロジェクトの一つとして「みんなでサロン」の活動を開始しました。地域での活動を通して、食を通じた地域コミュニティの活性化、地域で食や健康課題の共有、高知県産食材の価値共有、利用促進、実践活動による学生のスキルアップ支援などを目指しています。活動は高知県立大学健康栄養学部の学生・教員が食・健康に関連する団体と連携して取り組んでいます。食生活相談や料理教室など、食・健康に関する情報・知識を気軽に得られるような場所づくりを行っています。

（２）活動内容

令和7年度は7月5日に高知県立大学永国寺キャンパスで食生活相談（土曜日の永国寺カフェ、つながる保健室と同時開催）を、こうち生活協同組合と連携して10月25日にコープかもべ店で健康サロンを開催しました。また、6月21日に第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会で、学生が令和6年度の活動について実践活動報告を行いました（発表題目：食でつながる集いの場づくりを目指す実践活動報告、発表者：健康栄養学部3回生 田中千尋さん）。

7月5日の食生活相談では食育 SAT システムを用いた食事チェックやヘモグロビン推定値チェック、体組成測定、個別食生活相談を実施しました。10月25日の健康サロンでは「乳和食」をテーマにした健康教育（集団教育）と料理教室、体組成測定や食育 SAT システムを用いた食事チェック、個別食生活相談を行いました。乳和食は味噌や醤油などの調味料に、コク味や旨味をもつ牛乳を組み合わせることで、食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩量を減らし、美味しく和食を楽しむ調理法で、不足しがちなカルシウムやたんぱく質、減塩効果が期待されます。令和7年度も食生活相談や健康サロンを通して、食・健康に関する体験的な学びの場づくりを行いました。

（３）活動評価

7月5日の食生活相談では、食育 SAT システムを用いた食事チェックに19名、身体チェックでは体組成測定に11名、ヘモグロビン推定値チェックに16名、個別食生活相談に3名参加いただきました。食生活相談には健康栄養学部3回生10名が参加し、教員と共に参加された地域の方の食事の栄養バランスの確認や身体状態の確認を行いました。

10月25日の健康サロンでは、健康教育に31名、料理教室に15名（午前8名、午後7名）、食事チェックに23名、体組成測定に13名、個別食生活相談に8名参加いただきました。料理教室は健康栄養学部2回生9名が参加し、料理教室で使用するレシピの考案、料理教室の準備、当日の運営を担当しました。また、健康教育には健康栄養学部3回生7名が参加し、健康教育の資料の作成、当日は教員の指導の下、健康教育の実施を担当しました。当日実施したアンケートでは、乳和食を「知らなかった」と回答した人が回答者の8割を上回り、健康教育や料理教室は「参考になった」「まあまあ参考になった」と全員が回答していました。また、料理教室のメニューについても「美味しかった」「まあまあ美味しかった」と全員が回答し、料理教室を通じて今後の牛乳の摂取量が増えると思うと約9割が回答していました。活動によって、地域の人々の新たな食に関する知識の習得に寄与したことが示唆されました。

今後も活動を通じて、食を通じた地域のコミュニティを活性化や地域の食や健康課題を共有し合う場所づくり、学生の実践力の向上を目指して、取り組みを進めて参ります。

<7月5日食生活相談の実施>



食育 SAT システムを使用した食事チェック



教員による個別相談



体組成測定



ヘモグロビン推定値チェック

<10月25日健康サロンの実施>



健康教育



料理教室(午前・午後)





食育 SAT システムを使用した食事チェック

<作成した乳和食のレシピ>

鮭のミルクちゃんちゃん焼き



【材料】 ※2食分
 鮭……………2切れ
 牛乳……………100mL
 味噌……………大さじ1・1/2
 たまねぎ……………120g
 にんじん……………40g
 えのき……………50g
 ブロッコリー……………60g
 サラダ油……………大さじ1/2

【作り方】
 1. にんじんは短冊切り、たまねぎは1cm幅のくし形に切り、えのきは3等分程度にする。
 2. 牛乳と味噌をよく混ぜておく。
 3. フライパンにサラダ油を熱して、鮭をならべ、中火で片面3分ずつ焼いて取り出す。フライパンの余分な油はふきとる。
 4. フライパンに野菜を入れて、しんなりするまで炒める。
 5. 鮭を戻し入れ、2.を加えて煮立てて完成。

牛乳を加えることでカルシウムup！旨味up！
 減塩ちゃんちゃん焼き！

葉物野菜のミルク味噌和え



【材料】 ※2食分
 葉物野菜（ほうれん草や小松菜など）……………125g
 にんじん……………25g
 ツナ缶（水煮）……………1/2缶（70g/缶）
 牛乳……………大さじ1
 味噌……………大さじ1
 すりごま……………好みで

【作り方】
 1. にんじんは皮を剥き、千切りし、茹でる。
 2. 葉物野菜の根元に十字の切込みを入れ、沸騰したお湯で茹でる。茹でた後、冷水にとり、にんじんと同じくらいの大きさに切る。
 3. 牛乳と味噌を混ぜ、ミルク味噌をつくる。
 4. 水気を切った野菜とミルク味噌、水気を切ったツナ、ゴマを入れ、和えたら完成。

牛乳を加えることで、コクや旨味up！

減塩ミルク味噌汁



【材料】 ※2食分
 牛乳……………大さじ1
 味噌……………大さじ1
 水……………300cc
 粉末だし……………3g
 大根……………80g
 油揚げ……………1枚
 カットわかめ……………2g

【作り方】
 1. 牛乳と味噌をしっかり混ぜて、ミルク味噌をつくる。
 2. 大根はいちよう切り、油揚げは短冊切りにする。
 3. 鍋に水、だし、大根、油揚げを入れ、具材に火を通す。
 4. 火を止めてミルク味噌を溶き、わかめを加え、完成。

牛乳と合わせることで、美味しい減塩味噌汁に！

減塩ミルク肉じゃが



【材料】 ※2食分
 豚肉……………40g
 じゃがいも……………100g
 たまねぎ……………30g
 にんじん……………40g
 糸こんにゃく……………40g
 水……………60mL
 牛乳……………30mL
 醤油……………小さじ1
 みりん……………小さじ1
 砂糖……………小さじ1/2
 粉末だし……………小さじ1/2
 サラダ油……………適量

【作り方】
 1. じゃがいも、にんじんを一口大に乱切りし、たまねぎはくし切りに、糸こんにゃくは半分から1/3に切り、下茹でしておく。
 2. 鍋にサラダ油を入れて熱し、豚肉を炒め、さらに野菜と糸こんにゃくを加えて炒める。
 3. 水と調味料を加えて落とし蓋をし、中火で20分程煮る。
 4. 具材が柔らかくなったら牛乳を加え、弱火で3～5分煮て完成。

牛乳を加えることで、旨味up！美味し減塩！

ミルク茶碗蒸し



【材料】 ※2食分
 牛乳……………150mL
 卵……………Mサイズ1個
 鶏肉……………20g
 酒……………小さじ1/2
 干し椎茸……………2g
 かまぼこ……………5g
 醤油……………小さじ1/4
 塩……………0.5g

【作り方】
 1. 鶏肉に酒をふりかけておく。
 2. 鶏肉は一口大、かまぼこは厚さ5mmのいちよう切り、戻したしいきは薄切りにする。
 3. 卵、牛乳、塩、醤油を混ぜ合わせて卵液を作る。
 4. こし器でこすと、仕上がりなめらかになる。
 5. 耐熱容器に鶏肉、かまぼこ、しいたけを入れて、卵液を加え、1人分につき電子レンジ（500w 1分半～2分）で加熱する。

だし汁の代わりに牛乳を使用して茶碗蒸しに！
 カルシウムやたんぱく質の摂取に
 コクもupするので調味料は少量でOK！

あじのミルクつまみれ



【材料】 ※2食分
 あじ……………中2尾
 牛乳……………40mL
 味噌……………大さじ1/2
 生薬……………15g
 みょうが……………2個
 大葉……………8枚
 サラダ油……………大さじ1/2

【作り方】
 1. 大葉は洗って水気を切り、みょうがと生薬をみじん切りにする。
 2. 三枚おろしにしたあじ2尾をたたき、細かく刻む。
 3. 刻んだみょうがと生薬とあじをボウルに入れ、味噌を加えてこね、ある程度混ぜたら少しずつ牛乳40mLを入れてながらこねる。
 4. こねたタネを4等分にし、丸く成形する。
 5. 成形したタネの両面に大葉をつけ、サラダ油をひいたフライパンにのせ、弱火と中火の中間程度で1分ほど加熱する。フライパンに水を少量加え、蓋をして3分程度蒸す。その後、蓋を開けてひっくり返し、火が通るまで焼いたら完成。

牛乳を加えることで、魚の生臭さを抑え、柔らかさup！

<作成した乳和食の健康教育媒体>

乳和食とは？

・乳和食とは…

味噌や醤油などの調味料に牛乳を組み合わせることで、牛乳の「コク味」や「うま味」を生かし、食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩を減らし、美味しく和食を食べることができる料理メニューのこと。

カルシウムについて

日本人はカルシウム摂取量が不足している

乳和食を取り入れることで、カルシウムの摂取量が増加する！
 牛乳1杯（200mL）＝230mgのカルシウム

カルシウムの1日の推奨量					
年齢	男性 (mg)	女性 (mg)	年齢	男性 (mg)	女性 (mg)
1～2歳	450	400	12～14歳	1,000	800
3～7歳	600	550	15～24歳	800	650
8～9歳	650	750	30～74歳	750	650
10～11歳	700	750	75歳以上	750	600

出典：厚生労働省「食生活の改善と健康づくりのための食生活指針」

乳和食のメリット（利点）

- 牛乳が苦手な方にもおすすめ
 ・牛乳特有のにおいが味噌や醤油の風味で和らぐ
- 減塩効果と栄養素摂取量の増加につながる
 ・使用する調味料の量が少なくなることで減塩できる
 ・牛乳を使うことによってカルシウムやたんぱく質が摂取できる
- 見た目、味のおいしさをそのまま
 ・においや味はしない
 ・料理が白くならない

たんぱく質について

<たんぱく質の役割>
 ・筋肉や臓器、皮膚、毛髪など体の組織を作るための材料となる
 ・サルコペニアやフレイルの予防に重要である

<たんぱく質摂取のポイント>
 ◎自分に必要なたんぱく質を把握すること
 男性 15～64歳 ⇒ 65g/日 65歳以上 ⇒ 60g/日
 女性 18歳以上 ⇒ 50g/日

<牛乳はたんぱく質を多く含んでいる！>
 牛乳コップ1杯（200mL）＝たんぱく質6.8g
 納豆1パック（40g）＝たんぱく質6.6g

大豆などの植物性たんぱく質と比べ、肉、魚、牛乳・乳製品は効率よく消化吸収される

減塩について

和食は、塩分過剰になりがちである
 日本人の食塩摂取量は、9.8g

牛乳を用いることで、味噌や醤油などの塩分の多い調味料の使用量を減らせる

牛乳はコクのある美味しい調味料！
 減塩しても薄味にならない

摂取基準
 男性：7.5g未満
 女性：6.5g未満

まとめ

<日本人の食生活の課題>
 ・塩分摂取量が多い
 ・カルシウム摂取量が不足している

提案 → 乳和食：和食 + 牛乳

牛乳を上手に使用することで、カルシウムやたんぱく質を手軽に補い、コクや旨味で減塩に活かしましょう！

11. 国際交流活動～サバ大学との交流復活～

国際交流センター委員（副センター長） 島田郁子

2025 年は、国際交流が本格的に動き出す年となりました。

【サバ大学との交流 サバ大学から 4 名来高】

マレーシアは、タイと地続きのマレーシア半島部と、ボルネオ島北部のサバ州・サラワク州からなり、その 2 州の間にブルネイ王国があります。

ボルネオ島北部にあるサバ州の州都コタキナバルに位置する国立サバ大学は学生 1 万四千人近くを擁する国立大学です。健康栄養学部は、食品科学・栄養学部（英語名：Faculty of Food Science and Nutrition、マレー語名：Fakulti Sains Makanan dan Pemakanan [FSMP]）と交流してきました。FSMP は 1 学年あたりの学生数が 200 名、教員数が 44 名で、これまた大規模です。Food Science、Food Technology、Food Service と 3 つのコースでしたが、近年 Nutrition が加わり、4 つのコースとなりました。

2025 年 3 月にサバ大学を訪問し協議後、国際交流協定 MOU 再締結に向けて動き出しました。学内での決裁をいただき、サバ大学とのやりとりを重ね、2026 年 3 月下旬に双方の学長のサインが入った MOU をサバ大学に送り返すことができました。担当の Hazim 先生とは、WhatsApp というアプリを通して「届きましたか？」「まだ！」などひっきりなしにやり取りをしていましたが、締結できて安堵しています。

東南アジアの大学では、決裁関係や事務処理が比較的ゆっくりであることは承知していましたが、継続等の手続きは、1 年以上前から余裕をもって準備したほうがよいと痛感したことでした。

2025 年度はサバ大学から 4 名の学生が、また健康栄養学部からも 3 名の学生を派遣することができました。

サバ大学から来校したのは、Nutrition コースの 4 回生 4 名で、全員が女子学生、3 名が中華系、1 名がインド系でした。インド系の学生が瞬時に英語とマレー語と中国語（おそらくヒンディー語も話せると思います）を使い分けるのには驚愕しました。ほかの中華系の学生も、当たり前のように中国語とマレー語、英語を使いこなします。日本人学生にとっては、まさに多文化を感じられる交流だったと思います。

事情により施設での研修は、特別養護老人ホームでの見学研修のみでしたが、ほかには実習や実験、オンライン授業の参加、地産地消スーパーの見学など 2 週間でできるだけ高知県の産物や自然、歴史に触れてもらいました。

他学部にも入らせていただきました。社会福祉学部の学生が主催する手話サークルでは手話を習い、文化学部では言語比較演習や、国際日本学にオンラインでお邪魔しました。手話では数字を勉強し、言語を超えた交流が見られました。オンライン授業で、マレーシア人学生の積極的な発言が目立ち、さすがと思わせるところが多々ありました。最後に、看護学部では疫学演習に参加させていただきました。膨大な疫学データから、どのような健康支援活動が適切なのか考える演習です。4 回生で卒業研究も終わらせているとあって、分析はなかなかのものでした。彼女たちの卒業研究発表は、プレゼンテーション後の質疑応答（主に教員から）が 30 分だそうで、博士課程の発表並みだと私たちが驚く一面もありました。社会福祉学部、文化学部、看護学部の諸先生方、学生のみなさんにはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

彼女たちは日本食を積極的に食べ、大いに楽しんでいた姿が印象的でした。抹茶が流行っているそうで、街のお茶関係の店に連れて行くと大喜びしていました。



welcome party での留学生による挨拶



皮下脂肪厚の測定方法の説明



学食の体験



給食実習の体験

【サバ大学との交流 健康栄養学部から3名参加】

2026年3月に、健康栄養学部3年生3名がサバ大学での研修に参加しました。アメリカのイラン攻撃の影響で、実施できるか状況が二転三転するも、国際状況を冷静に判断していただき、当初予定の教員から渡航経験のある竹井先生にお願いし、実現することができました。

参加した3年生は高知で保健所や病院等の臨地実習を経験しているということもあり、サバ大学の用意してくれたプログラムは、妊産婦を対象とした栄養指導の見学や、ICU病棟と厨房の見学、マレーシアの料理の調理実習など、実践的な内容だったようです。そして高知県の文化や健康栄養学部の紹介、よさこい踊りの披露も行い、大変充実した時間を過ごしたとのことでした。

マレーシアは多民族、多宗教がもたらす食文化も日本と異なると実感したようです。栄養課題でも、日本では食塩相当量の過剰摂取が原因の高血圧等生活習慣病が有名ですが、マレーシアは甘い飲食物が多く摂取されており、それが原因である肥満や糖尿病が課題となっています。しかし、現地の料理には塩辛いものも多いと感じたとのことでした。研修時期がちょうどラマダン（断食月 1年に1度、イスラム暦第9の月に約1か月の断食を行う）が終了し大学の授業がオンライン中心となる中の訪問でしたが、サバ大学の教員および学生たちは大変熱心に交流を行ってくれました。

ぜひ、学生のみなさんには、在学中に多様な食文化に触れる機会を持っていただけたらと思います。

最後になりますが、海外旅行、留学を考えている皆さんへ、日本のパスポートの効力は非常に強く、多くの国で保護を受けることが可能です。しかし不幸にも事件・事故は海外で頻発しており、場合によっては命を失うこともあります。旅行前に外務省のたびレジ（海外安全情報無料配信サービス）に登録すること、海外旅行保険に必ず入ること等自身の安全確保を必ずお願いしたいです。わたしは海外派遣され数年の生活経験がありますが、心身ともに無事に帰国



できたのは、手厚い日本政府の保護と、海外の友人たちに守られていたからだと思います。海外派遣前に習う危機管理は、「逃げる・隠れる・戦う（run-hide-fight）」でした。戦うは最後の手段だそうです。

現実にはアクション映画と違うということを知った上で、海外へ飛び立っていただきたいです。



サバ大学の先生方と



ヤスミン先生（公衆栄養学）によるマレーシアの調理実習

サバ大学の先生方・学生のみなさんと
いただきます！



12. 管理栄養士国家試験対策

村井詩子, 竹本和仁, 山岡伸

I. 主な活動内容

3 回生及び 4 回生を対象に全国統一模擬試験を 6 回実施しました。また、高知県栄養士会からの受験希望者には、本学を会場として模擬試験の受験対応を行いました。

3 回生では現状と苦手分野の把握を目的に、4 回生では、最終的に管理栄養士国家試験の合格点 120 点以上を目標に実施しました。模擬試験毎に目標点数を決め、4 回生で達成していない学生や希望者には、模擬試験終了後に個別面談を複数回実施し、現状や課題に対する対策や勉強方法について助言を行いました。

6 月には、3・4 回生を対象に、外部講師による国家試験対策講座を開催し、苦手科目を克服できるよう、苦手分野の解き方や勉強方法、試験までの計画の立て方、試験対策について講演いただき、国家試験に対する意識づけを行いました。また、帰省時に保護者から学生への支援の依頼を目的として、夏季休暇前の 7 月と 11 月に実施した模試結果を帰省先に郵送し、帰省時に保護者の方等への協力依頼を行いました。加えて、4 回生を対象に苦手科目や強化したい科目などのアンケート調査を行い、その結果をもとに、年明け 1 月には学部教員による国家試験対策講座を開講しました。その際、各科目担当教員が各科目の基礎的内容から国家試験問題の解説を行い学生の支援に取り組みました。その他、国家試験受験願書記入説明会等を開催し、申請書類の郵送や受験までの支援を行いました。

これまでの活動に加え、次年度は、入学前から基礎学習を導入するとともに、定期的に学習成果を確認することで、大学 4 年間にわたる継続的な学びの定着を図り、国家試験に向けた学生支援を強化します。

II. 国家試験対策に関する活動内容一覧

実施日	模擬試験・対策講座	対象者	
4 月ガイダンス時	模試や対策講座の案内	4 回生	
5 月 17 日 (土)	【模試】医歯薬 第 1 回	4 回生	
6 月 7 日 (土)	(講座) RDC 特別講演	4 回生	3 回生
7 月 19 日 (土)	【模試】RDC 第 1 回	4 回生	3 回生
9 月 13 日 (土)	【模試】医歯薬 第 2 回	4 回生	
11 月 (上旬)	<調査> 1 月実施の学内国試対策講座の希望調査	4 回生	
11 月 (上旬)	<説明会> 受験願書記入説明会及び必要書類の提出	4 回生	
11 月 15 日 (土)	【模試】RDC 第 2 回	4 回生	3 回生
1 月 (1 ヶ月間)	(講座) 学内国家試験対策講座	4 回生	
1 月 12 日 (月・祝)	【模試】医歯薬 第 3 回	4 回生	
2 月 11 日 (水・祝)	【模試】RDC 第 3 回	4 回生	3 回生

III. 第 40 回管理栄養士国家試験の結果及び合格率の推移

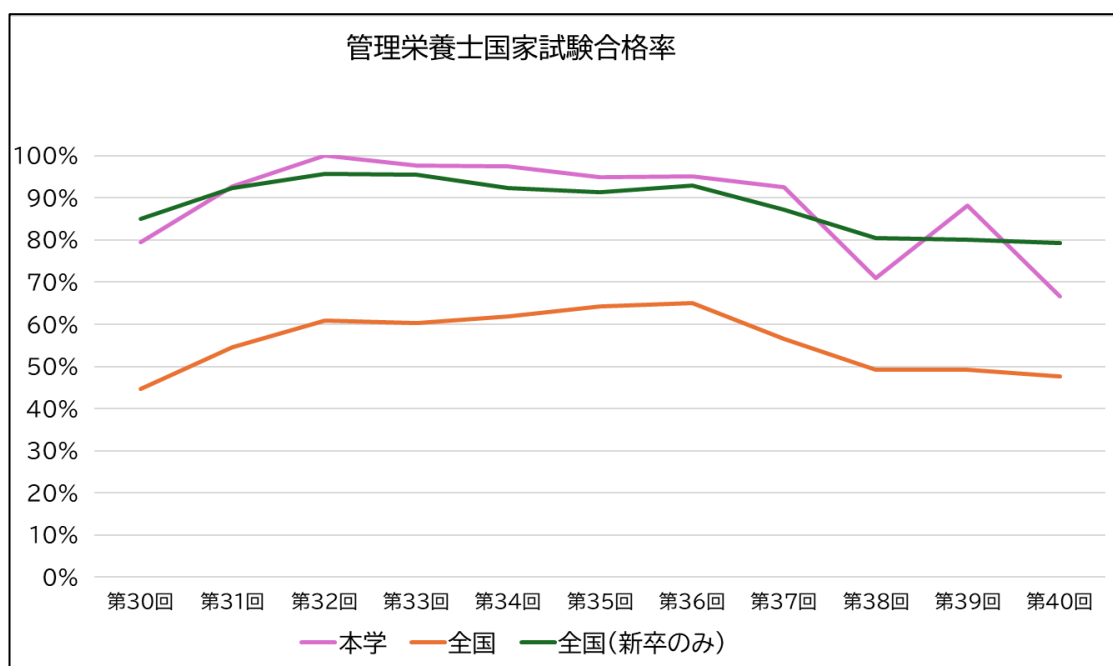
実施日 : 令和 8 年 3 月 1 日 (日)

合格発表 : 令和 8 年 3 月 27 日 (金)

受験者数 : 42 名 合格者数 : 28 名 合格率 : 66.7%

過去10年（第30回～第40回）の合格率

年次	高知県立大学			全国合格率	管理栄養士養成課程 (新卒) 合格率
	受験者数	合格者数	合格率		
平成27年（第30回）	39	31	79.5%	44.7%	85.1%
平成28年（第31回）	41	38	92.7%	54.6%	92.4%
平成29年（第32回）	41	41	100.0%	60.8%	95.8%
平成30年（第33回）	42	41	97.6%	60.4%	95.5%
令和1年（第34回）	40	39	97.5%	61.9%	92.4%
令和2年（第35回）	40	38	95.0%	64.2%	91.3%
令和3年（第36回）	41	39	95.1%	65.1%	92.9%
令和4年（第37回）	40	37	92.5%	56.6%	87.2%
令和5年（第38回）	38	27	71.1%	49.3%	80.4%
令和6年（第39回）	42	37	88.1%	49.3%	80.1%
令和7年（第40回）	42	28	66.7%	47.6%	79.3%



Ⅳ. 国家試験対策に関する図書リスト（管理場所：国家試験対策室）

書名
クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説 2020
クエスチョンバンク 2023
クエスチョン・バンク 管理栄養士国家試験問題解説 2025
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2019
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2020
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2021

管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2022
管理栄養士国家試験のためのレビューブック 2023
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2020 年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2020 年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2021 年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2021 年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2022 年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2022 年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2023 年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2023 年版 下巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2024 年版 上巻
オープンセサミシリーズ 管理栄養士国家試験対策完全合格教本 2024 年版 下巻
2019 管理栄養士国家試験過去問解説集＜第 28 回～第 32 回＞5 年分徹底解説
2021 管理栄養士国家試験過去問解説集＜第 30 回～第 34 回＞5 年分徹底解説
2022 管理栄養士国家試験過去問解説集＜第 31 回～第 35 回＞5 年分徹底解説
2023 管理栄養士国家試験過去問解説集＜第 32 回～第 36 回＞5 年分徹底解説
2024 管理栄養士国家試験過去問解説集＜第 34 回～第 38 回＞5 年分徹底解説
管理栄養士国家試験対策オリジナル問題集—管理栄養士国試合格のエッセンス＜第 7 巻＞
管理栄養士国家試験対策オリジナル問題集—管理栄養士国試合格のエッセンス＜第 9 巻＞
管理栄養士国家試験 女子栄養大学オープン模試問題集
SGS 管理栄養士国家試験/過去問題&解説集 2019 (第 28 回-第 32 回)☆合格への決定版☆解答のコツがひと目でわかる
RDC 管理栄養士国家試験完全攻略 2020 年版 29 回～33 回
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第 3 版 基礎栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第 2 版 人体の構造と機能/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 2 第 3 版 人体の機能と構造/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 3 第 2 版 人体の機能と構造/臨床栄養学②
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 4 第 2 版 人体の構造と機能/臨床栄養学③
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 5 第 1 版 公衆栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 5 第 2 版 応用栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 6 第 1 版 基礎栄養学/応用栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 6 第 2 版 給食経営管理論
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 1 第 4 版 基礎栄養学
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 2 第 4 版 人体の構造と機能/臨床栄養学①
栄養士・管理栄養士のためのなぜ?どうして? 3 第 3 版 人体の構造と機能/臨床栄養学②
病気がみえる vol.1 消化器 第 5 版
病気がみえる vol.1 消化器 第 6 版
病気がみえる vol.2 循環器 第 4 版
病気がみえる vol.2 循環器 第 4 版

病気がみえる vol.2 循環器 第5版
病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版
病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版
病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版
病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版
病気がみえる vol.5 血液 第1版
病気がみえる vol.5 血液 第2版
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第1版
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版
病気がみえる vol.7 脳・神経 第1版
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第2版
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版
病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版
病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版
病気がみえる vol.10 産科 第3版
病気がみえる vol.10 産科 第4版
病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 第1版
病気がみえる vol.12 眼科 第1版
病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 第1版
病気がみえる vol.14 皮膚科 第1版
公衆衛生がみえる 2016-2017
公衆衛生がみえる 2018-2019
公衆衛生がみえる 2020-2021
公衆衛生がみえる 2022-2023
薬がみえる vol.1 第1版
薬がみえる vol.2 第1版
薬がみえる vol.3 第1版
薬がみえる vol.4 第1版
フィジカルアセスメントが見える
がんがみえる 第1版
からだが見える 人体の構造と機能 第1版

その他、ガイドライン、公務員試験に関する過去問題集及び参考書も管理しています。

13. 学部就職支援

竹本和仁, 井治賢希, 彼末富貴

1. 活動内容

1) 学部の取り組み

平成 20(2008)年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置し、就職支援に取り組んでいる。学部全体として、4 回生の早い時期から、学生個別に就活の状況を聞き、状況を把握し、相談にのり、前向きに進展するように声掛けを心掛けてきた。キャリアセンターの就職相談員を通してワクワク Work!! とともに連携をとり、就職に関する指導と支援を続けている。

学部の就職担当教員は、学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。他に、卒業研究指導教員や学年担当教員などと連携して、教員間で連絡を取り、求人情報の提供なども行い、学生の就職活動の活性化を促している。また、就職支援課主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促している。学生の希望する職種に就職した卒業生を紹介し、就職先や受験勉強対策について直接相談する橋渡しの役目も行っている。

各学生の卒業研究指導教員は、相談を受け、指導し激励し支援を行っている。学部の教員は、申し出のあった学生の就活提出書類の添削・指導も行っている。

【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成 20 年度より開催してきた。開催方法は対面を主として、Zoom の併用する補助的部屋を準備して開催した。

10 月 12 日（日）には、健康栄養学部学生を対象として、社会で活躍している卒業生 3 名を講師に招いて行った。

また、1 月 20 日（金）には、10 月に就職が内定した 4 回生 5 名を講師としてお願いして、対面で実施した。また、卒業生ではありませんが、財）高知県総合保健協会で管理栄養士として長期にわたって管理栄養士としてお勤めの後、起業されているテイク・ケアカンパニー代表久武啓子様から、幅広い管理栄養士の役割についてご紹介をいただき、管理栄養士に期待されることを学んだ。

2 回とも各講師から全体に体験談を話してもらった後、在学生からの質問に答えてもらう質問タイムを設ける形式で行った。学生が聞きたいことを質問しやすいような実施を心掛けた。

参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化につながる、下級生が就活の進め方、情報収集の仕方などを知る機会となる、就活への不安を軽減するだけでなく、自分のやりたい職種を絞るきっかけになる、日々の授業の重要性を認識し、管理栄養士国家試験勉強を早期に始める動機付けとなるなど、よい刺激になっていると思われる。学生にとって、将来の仕事・就職活動・日々の勉強・学生生活について真剣に考える貴重な機会になっていると感じる。下記にその詳細を示す。

●令和 7 年度第 1 回 健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2025 年 11 月 29 日（土）13：00～16：00

講師：健康栄養学部卒業生 4 名

2022 年度卒業

- ・持丸 快人：株式会社トーカン 惣菜営業部 商品開発課
- ・阿比留 明里：社会医療法人近森会 近森病院 管理栄養士

2023 年度卒業

- ・伊藤 志音里：北川村立北川小学校 栄養教諭

2014 年度卒業

- ・鍋島 真依子：高知県産業振興推進部産業政策課

社会で活躍している卒業生が講師を務め、仕事の内容や就活での経験や 管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し質問タイムで相談に乗った。それぞれの職種について学生の理解が深まった。

第1回就職セミナー

参加者数 29 名 (1 回生 14 名、2 回生 4 名、3 回生 9 名、4 回生 2 名)

アンケート回収率 100% (29 名)

満足度 非常に良かった 72.4%、良かった 27.6%

個々の感想 (アンケート一部抜粋)

【3 回生】

- ・目指す職種や業種によって就活時期が全然異なっていて共に乗り越えられる友達がいることが大事なんだなと思った。
- ・トーカンの先輩や、近森病院の先輩のお話で、就活も、国試対策も早いうちから進めておくことが大切と言っていて、早め早めに準備を始めようと思った

【2 回生】

- ・近森の方：一人前の管理栄養士として育て上げる仕組みがしっかり整っているところが印象に残った。近森で働きたいなって思った。
 - ・今まで「これを目指そう」と無意識に決めつけてしまっていたなと感じた。阿比留さんのお話を聞いて病院管理栄養士が大学で学べないことを勉強できることが改めて素敵だなと思った。
- このセミナーが自分の進路について考え直すきっかけになったので、参加してよかったと思う。

【1 回生】

- ・今自分が何がしたいのかよく分からないので、自分の将来の道を少しでも具体的には考えることができる、良い時間になった。
- ・1 年時から先を見据えて行動しなければならないと、危機感を持つことができた貴重な経験になりました。来年以降もぜひ続けていただきたいです。個別質問の時間はとても勉強になったので今後も必要だと思います。

●令和7年度第2回健康栄養学部就職セミナー～健栄 教えて！先輩～

2026 年 1 月 16 日(月)14：40～17：50

講師

◇4 回生就職内定者 5 名

- ・企業：藤田 愛咲、
- ・病院：宇野 奈津子
- ・給食委託：伊藤 瑞月
- ・行政：岡本 小都華、谷岡 理子

内定を勝ち取った4回生5名が、就活の流れや対策、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表し、質問タイムで下級生の相談に乗った。

参加者数 82名 (1回生15名、2回生28名、3回生38名、4回生1名)

アンケート回収率 100% (82名)

個々の感想 (アンケート一部抜粋)

【3回生】

- ・タイムスケジュールがとても重要なことを痛感しました。
- ・就職活動を早めに、計画的に始めることの大切さ、面接の際に気をつけるポイントなど。

【2回生】

- ・就職について考える良い機会になりました。
- ・将来のことを考え、計画的に就活と国試対策をしないといけないと感じた。

【1回生】

- ・いつくらいから就職活動をしたらいいのかや、国家試験の対策などいままで不安だった要素が少し減った。

2. 成果

令和7年度の卒業生42名で、就職希望が41名、就職内定率は100%であった。就職支援課職員・キャリア支援委員・学部就職担当教員・卒業研究担当教員・学年担当教員の連携した支援・個別指導が学生のやる気を引き出し、内定を取ることに繋がったと考えられる。毎年、管理栄養士の資格を活かさない就職先を希望する学生もあり、そのような学生には各分野の技術やノウハウを学んで、将来設計をしながらキャリアアップをすること伝えるようにした。卒業生は一般企業から管理栄養士職に転職する場合がある実情から、将来、仕事に対する意識が変わる可能性もあることを話し、食の分野の幅広い仕事内容を知る必要があることを意識しながら、就職を考えるように勧めることを心掛けた。

就職セミナーでは、就職活動での成果ばかりでなく、いかに日々の授業での勉強が大切かに気付く機会にもなっていると思われる。就職セミナーでの発表の中で、講師の卒業生が就職支援課の提供する就職ガイダンスに積極的に参加した方がよいとたびたび話してくれることもあり、3回生は積極的に就職ガイダンスやセミナーに参加し、4回生での就活本番に向けての準備がより早くできていると思われた。また、4回生は就職支援課に相談に行く回数も多く、さらに学部就職担当教員・卒業研究担当教員・その他の学部教員も相談に乗っている。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。

管理栄養士・栄養士：医療施設 14、委託給食会社4、栄養教諭・栄養職員 4、行政2、ラッグストア・調剤薬局1、給食委託5、歯科医院1、

その他：食品製造・開発3、行政3、フードサービス7、その他2

就職希望しない：1

3. 令和6年度の課題

卒業後の就職は、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員は、就職支援課と密に連絡を取り合い、情報を共有して、令和7年度卒業生も就職内定率 100%を達成した。就職支援課職員は、学生一人ひとりの性格に合ったきめ細かい就職支援をし、模擬面接などを行うなど手厚くサポートしており、就職内定率 100%になったのも就職支援課職員のサポートによるところが大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も健康栄養学部就職担当として、学生それぞれの考えや希望を各学生から直接個別に聞き、学内関係部署との連携を図り、学部就職担当教員・卒業研究指導教員・学年担当教員・キャリア支援委員・就職支援課職員の協力体制をより充実させ、学生一人ひとりの個性に合った個別指導をしていくことが重要と考える。また、学部主催の就職セミナーは、学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えており、今後も継続することは意義あることと考えている。

14. FD研修会

隅田有公子

【概要】FDは教育の質向上、教員の能力開発などを目的としています。令和7年度は、全学FD研修会1回、学部FD研修会3回が開催されました。学部FD研修会では、教育・研究・地域連携の資質向上のため、各内容に関連する研修会を開催しました。第3回学部FD研修会では、高知医療センター栄養局の管理栄養士の皆様にもご参加いただき、包括連携事業に関する情報共有、改善点等についてのディスカッションを行いました。

1. 全学FD研修会

テーマ：学生対応のための精神障害の理解

講師：高知県精神保健福祉センター所長 山崎正雄先生

日程：2025年11月12日（水）10：30～12：00

場所：池キャンパス 本部・健康栄養学部棟 A216・A217 会議室

開催方法：ハイブリッド開催（後日録画配信あり）

参加者：健康栄養学部教員6名（当日参加4名、後日視聴2名）

2. 健康栄養学部FD研修会

【第1回FD研修会】

テーマ：科学研究費助成事業の概要等について

科研費獲得の方法とコツ：実例とポイントでわかる採択されるための申請書の書き方

講師：文部科学省 学術研究推進課 課長補佐 與座丈仁先生

ジーラント株式会社（久留米大学客員教授） 児島将康先生

日程：2025年7月10日（木）～9月4日（木）

方法：オンデマンド開催（公立大学教職員研修システム）

参加者：健康栄養学部教員8名

【第2回FD研修会】

テーマ：入学前教育プログラム（基礎学力支援、職業理解と心構えの形成）について

講師：株式会社進研アド 平田てるみ先生、健康栄養学部 竹井悠一郎先生

日程：2025年10月1日（水）18：00～19：30

場所：池キャンパス 本部・健康栄養学部棟3階 A320 講義室

方法：オンライン開催

参加者：健康栄養学部教員13名

【第3回FD研修会】

テーマ：令和7年度 包括連携事業 生活習慣病予防のための料理教室の実施報告

講師：健康栄養学部 隅田有公子

日程：2026年1月19日（月）17：30～18：10

場所：池キャンパス 本部・健康栄養学部棟3階 A318 講義室

方法：対面開催

参加者：19名（健康栄養学部教員11名、高知医療センター栄養局8名）



第3回FD研修会

15. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

隅田有公子, 竹本和仁, 井治賢希, 小山智久, 杉本拓海, 山岡伸

生活習慣病予防のための料理教室

開催日時：令和7年（2025年）11月29日（土）10：00～13：00

開催場所：高知県立大学 池キャンパス 本部・健康栄養学部棟1階 調理実習室

対 象：高知県民（生活習慣病を予防したい方とご家族）

参加者数：14名（男性3名、女性11名）

内 容：講義、調理実習

献 立：令和6年度作成「減塩レシピ集」高知医療センター作成献立

スタッフ：高知県立大学健康栄養学部教員6名（隅田、竹本、井治、小山、杉本、山岡）

高知医療センター栄養局職員3名〔坂本（一）、濱田、小田中〕

健康栄養学部学生4名（1回生2名、4回生2名）



1. 事業概要

健康栄養連携部会では、食事療法におけるセルフケア支援を目的とした料理教室を開催しており、令和7年度で9回目の開催となります。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、6年ぶりの開催となりました。

高知県民の1日あたりの食塩摂取量は男性9.7g、女性8.4g（令和4年高知県県民健康・栄養調査）となっており、令和6年度に健康栄養連携部会では減塩レシピ集を作成し、令和7年度は作成した減塩レシピ集を用いて生活習慣病予防のための料理教室を開催しました。高知県民への減塩の啓発、減塩を要する患者の食事療法の一助となることを目的とし、開催しました。

2. 活動内容

当日は、はじめに高知医療センター栄養局の管理栄養士による生活習慣病予防のための食事のポイントや、塩分チェック表を用いた食塩摂取量の確認、減塩のポイントに関する講義を行い、参加者の方に食事療法の重要性、実践のための工夫について理解を深めていただきました。講義後、調理する献立について説明を行った後、グループに分かれて2種類の献立（昼食・夕食メニュー）の調理を行いました。参加者は6グループに分かれ、各グループ参加者2～3名に対してスタッフ1～2名がサポートとして入りました（昼食3グループ、夕食3グループ）。調理実習中も参加者がスタッフの管理栄養士や学生に質問・相談できる体制をとり、調理しながら学ぶことができる料理教室を実施しました。また、朝食メニューについてもスタッフが調理し、参加者には3食分のメニューの試食をしていただき、ご家庭の味と比較していただきました。お帰りの際には、減塩の調味料などのサンプルをお持ち帰りいただきました。

生活習慣病予防のための

料理教室

管理栄養士による
講義と調理実習の教室です。



生活習慣病予防のための食事を知りたい方、塩分を抑えたおいしい料理の作り方を知りたい方などにお勧めの教室です。また、日頃の食事についてもお気軽にご相談ください。

2025年11月29日（土）
10：00～13：00（受付9：30開始）

会 場：高知県立大学 池キャンパス 健康栄養学部棟1階 調理実習室

参 加 費：500円/1人（材料費等）
＊当日集金させていただきます

持 ち 物：エプロン、三角巾等、ハンカチ、筆記用具

定 員：20名

申込み方法：下記のいずれか

★高知医療センター 管理栄養士または総合受付にお声掛けください。

★高知県立大学 お問い合わせもしくはファックスでお申し込みください。

TEL：088-847-8594 平日9：00～17：00（担当：高知県立大学 健康栄養学部 学務事務 大西）

FAX：088-847-8594 裏面に必要事項を記入の上お申し込みください

申込期限：2025年11月25日（火）まで 定員に達し次第締め切ります

お車で越しの方は大学の駐車場（申込用紙参照）をご利用ください

主催：高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会
共催：高知県立大学健康栄養研究センター



朝食メニュー：パイナップル風サンドウィッチ，青のり風味のさつまいもソテー，フルーツ
 昼食メニュー：減塩カレーライス，和風チョップドサラダ，ラッシー
 夕食メニュー：ご飯，枝豆とチーズ入り豆腐ナゲット，具沢山きのこ汁，小松菜と桜エビの和え物

講義



調理実習



3. 活動評価

本料理教室では健康づくりに欠かせない減塩の基礎知識や日常生活で取り入れやすい減塩の工夫について講義を行い、また、減塩レシピ集を用いて実際に調理し、味わいながら実践的に減塩の工夫について学ぶ調理実習を行いました。

料理教室後に実施したアンケート（回収率 100%）では、生活習慣病予防のための食事の重要性が「よく理解できた」（86%）、「まあまあ理解できた」（14%）、また、メニューの味は「美味しかった」（36%）「まあまあ美味しかった」（50%）、本日の生活習慣病予防のための料理教室は「参考になった」（93%）、「まあまあ参考になった」（7%）と評価をいただきました。また、「とても参考になりました。家でも実施してみようと思いました。」「自分の味覚で確認できて、大変参考になりました。今後の食生活にいかしていきたいです。」「気を付けているつもりではありましたが、今日きちんと計算された塩分量の食事をしてもう一度食生活を見直したいと思いました。」「食べられないものを探すのではなく、食べられるものを探し、また、量を工夫すれば更に食生活が豊かになることが分かりました。」といったご感想をいただきました。

16. 委員会一覧

委員会名		担当者	委員会名		担当者
教育研究審議会		渡邊浩幸	情報基盤・セキュリティ本部		
大学運営会議		渡邊浩幸	図書館運営本部		杉本拓海
総務・危機管理本部		渡邊浩幸	紀要専門部会		小林淳
	教員評価専門会議	渡邊浩幸	地域共生学研究機構		
	内部質保証専門部会	渡邊浩幸	総合情報研究センター運営会議		
	F D 専門部会	隅田有公子	地域教育研究センター運営会議		井治賢希
教学本部規程			健康長寿研究センター運営会議		隅田有公子 杉本拓海
	教務委員会	竹井悠一郎	国際交流センター運営会議		島田郁子
	共通教育専門委員会	竹本和仁	健康管理センター運営会議		山岡伸
	教職課程専門委員会	近藤美樹	人権委員会		
	学生委員会	小林淳	セクハラ等防止専門部会		村井詩子
	キャリア支援専門委員会	西岡道子			
研究倫理検討本部			広報担当		渡邊浩幸（彼末富貴，井治賢希）
	職務発明専門部会	渡邊浩幸	学年担当教員	1 回生	村井詩子，井治賢希
	動物実験・遺伝子組換え実験安全専門部会	渡邊浩幸，竹井悠一郎，竹本和仁		2 回生	西岡道子，竹本和仁
				3 回生	竹井悠一郎，彼末富貴
				4 回生	鈴木麻希子，小山智久
研究倫理審査委員会					
研究不正防止委員会		渡邊浩幸			
学部	学部運営会議	渡邊浩幸，小林淳，近藤美樹，鈴木麻希子，竹井悠一郎			
	学部教務委員会	竹井悠一郎，小林淳，近藤美樹，渡邊浩幸，島田郁子			
	高知県立大学健康栄養研究倫理審査委員会	渡邊浩幸，鈴木麻希子，西岡道子			
	臨地実習委員会	島田郁子，竹井悠一郎，村井詩子，隅田有公子，小山智久，杉本拓海，山岡伸			
	国家試験対策委員会	村井詩子，竹本和仁，山岡伸			
	国際交流ワーキンググループ	島田郁子，小林淳，渡邊浩幸，竹井悠一郎，村井詩子，隅田有公子，竹本和仁			
	就職支援	井治賢希，竹本和仁，彼末富貴			
	学部報編集委員	渡邊浩幸，彼末富貴，杉本拓海			
	学部広報担当	井治賢希，彼末富貴			
	包括連携料理教室担当	隅田有公子，竹本和仁，小山智久，井治賢希，杉本拓海，山岡伸			
	近森病院見学担当	竹井悠一郎，隅田有公子，山岡伸			

17. 入学試験状況の概要(2026 年度)

区分		募集 人員 A (名)	志願者数 B(名)		受験者数 C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)
			全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内	B/A	C/D
推薦	一般 県内	12	16	16	16	16	12	12	12	12	1.3	1.3
	一般 全国	5	14	0	14	0	5	0	5	0	2.8	2.8
	合計	17	30	16	30	16	17	12	17	12	1.8	1.8
個別	前期	23	69	9	61	8	27	4	24	4	3.0	2.3
社会人		若干 名	1	1	1	1	1	1	1	1		1.0
私費外国 人留学生		若干 名	1		1		0		0			
合計		40	101	26	93	25	45	17	42	17	2.5	2.1

18. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス・出前授業状況

本学訪問学校数	365 日オープンキャンパス来校生徒数	出前授業
2 校 (県内)	6 人 (県内 3 人, 県外 3 人)	7 校 (県内 6 校, 県外 1 校)

Ⅱ．学生の記録

- 1．学生の都道府県別出身高校数
- 2．教育における学外施設の利用状況
- 3．資格所得状況の概要
- 4．国家試験の合格者状況（新卒者）
- 5．就職状況の概要
- 6．インターンシップの実施状況
- 7．学生の海外研修等
- 8．卒業研究題目一覧
- 9．学生の受賞
- 10．学生の課外活動・イベントでの特徴的な事項の一覧

1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県					
群馬県					
埼玉県					
千葉県					
東京都				1	1
神奈川県		1			1
新潟県					
富山県					
石川県					
福井県	1				1
山梨県		1			1
長野県					
岐阜県				1	1
静岡県		1		2	3
愛知県		2		3	5
三重県		1			1
滋賀県			1	1	2
京都府	1	2	3		6
大阪府		1	3		4
兵庫県	4	6	4	4	18
奈良県	1	1			2
和歌山県		1		1	2
鳥取県		1	1		2
島根県				2	2
岡山県	2	1	2	2	7
広島県	1	1	1		3
山口県			1		1
徳島県	6		1	4	11
香川県	4	3	2	1	10
愛媛県	5	3	1	2	11
高知県	18	12	19	15	64
福岡県		1			1
佐賀県			1		1
長崎県					
熊本県					
大分県	1				1
宮崎県				2	2
鹿児島県	1				1
沖縄県		1		1	2
合計	45	40	40	42	167

2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生 (名)
地域公衆栄養学 臨地実習	安芸福祉保健所	2025. 8. 18～8. 22	7
	中央東福祉保健所	2025. 8. 18～8. 22	7
	高知市保健所	2025. 8. 18～8. 22	8
	中央西福祉保健所	2025. 8. 18～8. 22	7
	須崎福祉保健所	2025. 8. 18～8. 22	7
	幡多福祉保健所	2025. 8. 18～8. 22	4
給食経営管理 臨地実習	高知医療センター	2025. 8. 25～8. 29, 9. 1～9. 5	14
	高知大学医学部附属病院	2025. 8. 25～8. 29, 9. 1～9. 5	12
	高知赤十字病院	2025. 8. 25～8. 29	4
	とさの里	2025. 8. 25～8. 29, 9. 1～9. 5	6
	陸上自衛隊高知駐屯地	2025. 9. 1～9. 5	4
臨床栄養学 臨地実習Ⅰ・Ⅱ	高知医療センター	2026. 2. 18～2. 20, 24, 27 3. 2～3. 6	21
	高知大学医学部附属病院	2026. 2. 18～2. 20, 24, 27 3. 2～3. 6	6
	高知赤十字病院	2026. 2. 18～2. 20, 24, 26, 27 3. 2～3. 5	4
	JA 高知病院	2026. 2. 18～2. 20, 24, 27 3. 2～3. 6	3
	高知高須病院	2026. 3. 2～7. 15, 3. 9～3. 13	4
	高知県立あき総合病院	2026. 3. 2～3. 6, 3. 9～3. 13	2
地域実践栄養学 臨地実習	近森病院	2025. 6. 30～7. 4 7. 28～8. 1	4
教育実習 (栄養教諭)	室戸市立室戸小学校	2025. 5. 12～5. 23	1
	都農町立都農小学校	2025. 5. 12～5. 23	1
	南国市立岡豊小学校	2025. 5. 12～5. 23	2
	延岡市立北方学園小学校	2025. 5. 18～5. 30	1
	出雲市立斐川西中学校	2025. 5. 12～5. 23	1
	松江市立第二中学校	2025. 5. 12～5. 23	1
	香美市立山田小学校	2025. 6. 2～6. 13	1

3. 資格取得状況の概要

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	栄養教諭一種
42	42	8

4. 国家試験の合格者状況（新卒者）

受験年度	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
国家試験回数	第 40 回	第 39 回	第 38 回	第 37 回
受験者数（名）	42	42	38	40
合格者数（名）	28	37	27	37
合格率	66.7%	88.1%	71.1%	92.5%

5. 就職状況の概要

		人数（人）
管理・栄養士 栄養士	行 政	2
	医 療	13
	栄養教諭	4
	ドラッグストア・調剤薬局	1
	委託給食	5
	歯科医院	1
その他	食品製造・開発	3
	行政	3
	フードサービス	7
	その他	2
	就職希望せず	1
卒業生数		42

6. インターンシップの実施状況

（単位：名）

	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
高南メディカル	0	2	1	0

7. 学生の海外研修等

オーストラリア ニューサウスウェールズ 1 名（1 回生）2025. 8. 19～26

マレーシア マレーシア国立サバ大学 3 名（3 回生）2026. 3. 16～21

8. 卒業研究題目一覧

() : 氏名, 研究室名

1. 大学内の階段手すりにおける微生物汚染の評価 (永野天 健康生態学)
2. 調理室内の温湿度変化とその要因 (芦田真子 鯉崎ひかる 給食経営管理)
3. 給食経営管理実習におけるリスクマネジメント報告の分析 (永井風歌 古谷あかり 給食経営管理)
4. K 県在住の壮・老年期のビタミン D 摂取状況
～BDHQ (簡易型自記式食事歴法質問票) を用いて～ (島崎千昌 田村心愛 近田雅子 給食経営管理)
5. 介護福祉施設における食形態調整に関する調査
－管理栄養士・栄養士及び調理従事者の対応の現状と課題の検討－ (一瀬美咲 佐々木和音 地域栄養管理学)
6. 介護福祉施設における食形態調整に関する調査
－介護職員の認識・対応の現状と課題の検討－ (岸あかり 宮地佐奈 地域栄養管理学)
7. 小松菜の調理法別の葉酸について (小鹿羽菜 調理学)
8. 真空調理によるうめいわし梅煮のビタミン B₁₂ について (高原郁海 調理学)
9. 味覚閾値と食塩摂取量との関連 (谷岡理子 森澤咲菜 公衆栄養学)
10. 減塩行動・意識と食塩摂取量との関連 (岡本小都華 藤川愛生 安岡真菜 公衆栄養学)
11. 練り製品、スナック菓子のリン、ナトリウム/カリウム比、リン/カルシウム比の製品間比較 (伊藤瑞月 小島望知 松田千愛 栄養学)
12. 自記式加工食品摂取頻度調査フォームの改良と大学生の加工食品の摂取状況 (西森美海 栄養学)
13. 加齢と高脂肪食がマウス大脳皮質の糖代謝に及ぼす影響 (村上幸羽 栄養学)
14. ヒト乳がん細胞 (MCF-7) における PRMT4 発現抑制が糖代謝に及ぼす影響 (秋森叶羽 谷村菜々香 栄養学)
15. 潰瘍性大腸炎モデルマウスにおけるオーラプテン投与が重症度に及ぼす影響 (井上和 臨床栄養学)
16. コンビニエンスストアのサラダ商品の活用について (西川亜美 臨床栄養学)
17. 育成世代女子サッカー選手における栄養素摂取状況および生活習慣等の実態調査 (杉浦百花 竹林駿 臨床栄養学)
18. シカ肉つくねの品質に及ぼすシソおよびショウガ添加の影響 (岸田夏美 栄養教育論)
19. ハーブ・スパイスの抗酸化性および抗糖化性の *in vitro* における評価 (橋本くるみ 栄養教育論)
20. ツタンカーメンエンドウ種皮抽出物の糖質・脂質吸収抑制効果 (東出彩未 栄養教育論)
21. 梅加工食品ペーストのマウス大腸がん細胞への影響 (大西彩花 食品科学)
22. 昆布と鰹節の一般生菌数について (三村雄基 食品科学)
23. 蛍光 X 線による硫黄原子の検出とタマネギ中の辛味成分 (*S-trans-1-propenylcysteine sulfoxide*) 含量との相関性 (宇野奈津子 食品科学)
24. すりおろしニンニクから生成する含硫化合物アリシンの揮発に伴う硫黄含量の変化 (大島綾乃 食品科学)
25. ニンニクへの高電圧負荷がニンニク臭発生に及ぼす影響 (黒田果穂 食品科学)
26. 食品への高電圧負荷によるニンニク鱗茎に存在するタンパク質に及ぼす影響 (古川陽菜 食品科学)
27. 生鮮食品への高電圧負荷による食品の細胞に及ぼす影響 (坂元遥 食品科学)
28. 各種野菜に含有する食物繊維を構成する糖組成について (馬場日和 食品科学)
29. 近赤外線分光法を利用した野菜中のペクチン含量の非破壊定量法の検討 (藤田愛咲 食品科学)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞	4 回生	芦田真子	1 回生から地域貢献活動に積極的に参加した。COME☆RISH では部長として米の収穫から販売まで担い、消費拡大に貢献した。また、「小1サポーター」として小学校で担任補助や児童支援を 3 年間継続して行い、児童や教員から高い評価を得た。
学長賞	4 回生	大西彩花	「香川 Olive Deers」に所属し、全日本社会人ホッケー選手権で 2 年連続準優勝。また、「高知社会人ホッケークラブ」にも所属し、高知・香川両チームで練習を重ね、学業と両立し地域スポーツ振興にも貢献した。
学長賞	4 回生	鉾崎ひかる	立志社中チームおよび活輝創生実行委員会で 4 年間活動。桜まつり企画や代表として地域再生に尽力し、調整力と発想力で特色ある取組を創出。尾川地区の課題解決に貢献し、地域から信頼される存在となった。
学長賞	4 回生	馬場日和	室戸ボランティアリーダーとして教育事業活動に主体的に参加。キャンプ企画長や副代表を務め、企画書作成から実施まで中心的役割を果たし、自然体験を通じた学びを提供し地域教育に貢献した。
学長賞	4 回生	東出彩未	こども食堂で調理補助や盛り付け、片付けを行い、食事提供を支援。子どもと遊びや学習を通じ交流し、夏祭りやクリスマスなどのイベント準備も担当。複数の食堂で 4 年間活動し、地域に信頼される存在となった。
(社)全国栄養士養成施設協会会長賞	4 回生	宇野奈津子	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2025. 7. 5	みんなでサロン 食生活相談	渡邊浩幸 隅田有公子 竹本和仁 井治賢希 杉本拓海 彼末富貴	高知県立大学永国寺キャンパスで 食生活相談を行った。
2025. 10. 25	みんなでサロン 健康サロン	渡邊浩幸 隅田有公子 竹本和仁 井治賢希 杉本拓海 彼末富貴	こうち生活協同組合と連携し、コー プかもべ店で健康教育、料理教室、 食生活相談を行った。
2025. 4. 15 ～8. 30	食品ロス削減のためのレシ ピ作成	隅田有公子 彼末富貴	高知市環境部新エネルギー・環境政 策課から依頼をいただき、レシピを 作成した。作成したレシピは8月に 開催された「こうち環境博 2025」や 高知市役所本庁舎での食品ロス削 減パネル展示で約 200 枚が配布さ れ、レシピは料理レシピサービス 「クックパッド」で消費者庁が開設 している「消費者庁のキッチン」に 掲載されている。

Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 渡邊 浩幸
2. 小林 淳
3. 近藤 美樹
4. 島田 郁子
5. 鈴木 麻希子
6. 竹井 悠一郎
7. 西岡 道子
8. 隅田 有公子
9. 竹本 和仁
10. 村井 詩子
11. 井治 賢希
12. 小山 智久
13. 杉本 拓海
14. 山岡 伸
15. 彼末 富貴

学部長 教授 渡邊 浩幸 (WATANABE Hiroyuki)

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学
- ・食品学実験Ⅱ
- ・食品衛生学実験
- ・食材学
- ・HACCP 管理論
- ・卒業研究
- ・食品学実験Ⅰ
- ・食品衛生学
- ・食品の栄養素と機能
- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ

【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・研究方法論Ⅰ
- ・食品製造学特論（食品科学論Ⅱ）
- ・食物科学実践演習
- ・食品生化学特論（食品科学論Ⅰ）
- ・食物科学論

【大学院・健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- ・食品機能学

【客員教授】

- ・高知大学

II. 研究活動

【論文】

1. Utility of mast cell P815 for evaluating $Fc\epsilon RI$ -dependent and $Fc\epsilon RI$ -independent allergic effects, Ryosuke Misawa, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Luo Hao, Akari Koresawa, Hiroyuki Watanabe, *Allergol Immunopathol (Madr)*, **53** (4), 119-127, 2025
2. Development of a Method for in vivo Direct Monitoring of Stored Fat Burning Using Stable Isotope-labeled Fatty Acids, Seiya Tanaka, Tetsujiro Matsui, Riho Murata, Aya Yoshinaga-Kiriake, Kazuaki Yoshinaga, Fumiaki Beppu, Hiroyuki Watanabe, Naohiro Gotoh, *J Oleo Sci*, **74** (4), 423-428, 2025

【学会発表】

1. クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響, 三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 羅昊, 小山智久, 渡邊浩幸, 第79回日本栄養・食糧学会大会（名古屋）, 令和7年5月23日～25日
2. 近赤外分光法による Low-methoxy (LM) ペクチンゲルの硬度測定, 門脇愛美, 井治賢希, 竹本和仁, 小山智久, 渡邊浩幸, 第79回日本栄養・食糧学会大会（名古屋）, 令和7年5月23日～25日
3. イタドリ茎部が食物アレルギーモデルマウスに与える影響, 前田律子, 竹本和仁, 三澤伶輔, 羅昊, 門脇愛美, 竹田千奈都, 井治賢希, 小山智久, 渡邊浩幸, 第79回日本栄養・食糧学会大会（名古屋）, 令和7年5月23日～25日
4. 高脂肪高ショ糖食マウスへのアシル化ステロール配糖体投与による視床下部の FGF21signaling 亢進と体脂肪量蓄積抑制作用との関係, 井治賢希, 竹本和仁, 小山智久, 羅

昊, 三澤伶輔, 渡邊浩幸, 第 79 回日本栄養・食糧学会大会 (名古屋), 令和 7 年 5 月 23 日～25 日

5. マウス骨格筋細胞 C2C12 株の脂肪酸添加培養による脂肪蓄積性について, 竹本和仁, 安岡優香, 羅昊, 三澤伶輔, 小山智久, 井治賢希, 渡邊浩幸, 第 79 回日本栄養・食糧学会大会 (名古屋), 令和 7 年 5 月 23 日～25 日
6. クロモジ抽出物投与によるマウス骨格筋増強作用とメカニズム, 三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 羅昊, 渡邊浩幸, 第 58 回日本栄養・食糧学会大会中国・四国支部大会 (高知), 令和 7 年 11 月 8 日～9 日
7. Anti-obesity effects of acylated steryl- β -glycosides in high-fat/high-sucrose diet-induced obese mice, Masaki Iji, Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Ryosuke Misawa, Mamoru Tanaka, Yuichiro Takei, Yoichi Miura, Hiroyuki Watanabe, International Union of Nutritional Sciences (IUNS) -ICN2025, Paris, 令和 7 年 8 月 24 日～29 日

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康栄養学研究倫理審査委員
2. 教員評価委員会
3. 自己点検・評価運営委員会
4. 発明委員会委員
5. 動物実験委員会委員長
6. 入試広報委員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 日本食品保蔵科学会代議員
3. 日本食品保蔵科学会 HACCP 委員会委員
4. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
5. 高知県事業診査アドバイザー (委員長)
6. こうち産業振興基金等事業審査員
7. 越知町まち・ひと・しごと創生推進会議 (委員)
8. IoP プロジェクト研究推進部会 高付加価値化大課題リーダー
9. 安芸市立学校給食センター運営委員会アドバイザー

【講演・講習会】

1. 土佐 F B C 人材創出事業 (食品機能学)

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 内閣府: “I o P (Internet of Plants)” が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化 (地方大学・地域産業創生交付金)

教授 小林 淳 (KOBAYASHI Jun)

I. 教育活動

【学部】

- ・生化学 I ・公衆衛生学 ・地域健康論 ・地域医療論
- ・生化学実験 ・環境衛生学実習 ・生化学（看護学部） ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）

【大学院・人間生活学研究科（修士課程）】

- ・研究方法論Ⅰ（オムニバス） ・栄養・生活統計論

II. 研究活動

【著書】

1. 加藤雅彦, 内田明彦, 小林 淳 他（分担執筆）：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5 巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛護・適正飼養関連法規, 一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 編, 改訂第 2 版第 6 刷, EDUWARD Press, 2025.

【論文】

1. Jun Kobayashi, Nayumi Ohta, Nene Tadokoro, Keiichi Ikeda: Variations in the microbial contamination of disinfectant bottles established during COVID-19 based on their location and operation mode, *International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research*, **31**(4), 436-444 (2025).
2. Jun Kobayashi, Fumise Hashidume, Wakana Watanabe: Survey of atmospheric environment in classrooms assuming university lectures, *Journal of Current Pharmaceutical Research*, **21**(5), 15-26 (2025).
3. Jun Kobayashi, Anzu Yasue, Amiri Hirose, Keiichi Ikeda, Hideo Sugiyama: Determination of microbial contamination on restroom floors in a university building, *International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Research*, **31**(10), 365-372 (2025).
4. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda: Should books continue to be printed?, *International Journal of Science & Research Methodology*, **28**(11), 19-24 (2025).
5. Jun Kobayashi, Keiichi Ikeda: Does starting a meal with vegetables boost wellness?, *International Journal of Science & Research Methodology*, **28**(12), 1-4 (2025).

【学会発表】

1. 生川卓弘, 福井綾音, 田中ひかり, 小林 淳, 有田真理: 甘味料の種類による嗜好性及び機能性への影響～5種類の甘味料による比較～, 第72回日本栄養改善学会学術総会(2025年9月, 東京)。
2. 小林 淳, 安江 杏, 廣瀬杏未梨, 池田啓一, 杉山英男: 大学内トイレ床面における微生物汚染状況調査, 日本分析化学会第74年会(2025年9月, 北海道)。
3. 小林 淳, 安江 杏, 廣瀬杏未梨, 池田啓一, 杉山英男: トイレ床面における微生物汚染状況調査, 日本薬学会第146年会(2026年3月, 大阪)。

4. 小島健志, 木下康太郎, 池田啓一, 中内悠帆, 布島未葵, 刀祢重信, 川崎広明, 東 康彦, 小林 淳, 松本 孝, 山倉文幸: トリプトファン代謝物のペルオキシナイトライトとの反応生成物の分析, 日本薬学会第 146 年会 (2026 年 3 月, 大阪) .

【その他】

1. 小林 淳: 亡き母との思い出, *Humanismus*, **37**, 24-28 (2026).

Ⅲ. 委員会活動

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 健康栄養学部運営会議委員 | 2. 健康栄養学部教務委員会委員 |
| 3. 健康栄養学部国際交流 WG 委員 | 4. 全学学生委員会委員 |
| 5. 全学紀要専門部会部会員 | 6. 人間生活学研究科入試実施委員会委員 |
| 7. 人間生活学研究科入学資格審査部会部会員 | 8. 人間生活学研究科入試問題検討部会部会員 |

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 令和 7 年度高知市市民ウェブモニター
2. 令和 7 年度食品安全委員会食品安全モニター
3. 分析化学討論会若手ポスター審査員

【講演・講演会】

1. 第 98 期高知市民の大学講師 2025 年 10 月 3 日
2. 高知県立四万十高校出前講座 (高大連携) 「飲み水の作り方」2025 年 10 月 15 日

I. 教育活動

【学部】

- ・栄養教育論 I
- ・栄養教育論 II
- ・栄養教育論 III
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・学校栄養指導論 I
- ・学校栄養指導論 II
- ・学校栄養教育実習
- ・教職実践演習(栄養)

【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・調理科学特論
- ・実践栄養学特論 (オムニバス)
- ・栄養・生活学課題研究演習

【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・人間栄養学
- ・栄養・生活学特別研究 I

II. 研究活動

【学会発表】

1. 近藤 (比江森) 美樹, 榎木 悠. 紫カリフラワー抽出物の鉄誘発性酸化ストレスに対する効果. 第 79 回 日本栄養・食糧学会大会, 名古屋 (2025. 5. 23-25)
2. 小柳彩華, 近藤 (比江森) 美樹. フキ抽出物の抗糖化作用. 第 79 回 日本栄養・食糧学会大会, 名古屋 (2025. 5. 23-25)
3. 松田 美沙, 榎木 悠, 近藤 (比江森) 美樹. 酸化誘導マウスにおける紫カリフラワー抽出物の抗酸化効果. 第 10 回 日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知 (2025. 6. 21)
4. Miki Hiemori-Kondo and Kayaki Yuu. Antioxidant effects of the acidic ethanol extract of purple cauliflower (*Brassica oleracea* L. var. botrytis). 23rd International Congress of Nutrition of International Union of Nutritional Sciences (IUNS-ICN 2025), Paris (2024. 8. 24-29).
5. 小柳彩華, 近藤 (比江森) 美樹. 高脂肪高ショ糖食給餌マウスの生化学マーカーに及ぼすフキ抽出物の影響. 日本農芸化学会 2025 年度 関西・中四国・西日本支部合同大会, 岡山 (2025. 9. 18-19)
6. 松田 美沙, 榎木 悠, 近藤 (比江森) 美樹. 酸化誘導マウスの抗酸化酵素活性に及ぼす紫カリフラワー抽出物の影響. 第 58 回 日本栄養・食糧学会 中四国支部大会, 高知 (2025. 11. 8-9)
7. 小柳彩華, 松田 美沙, 榎木 悠, 近藤 (比江森) 美樹. フキの葉抽出物の糖質・脂質吸収抑制効果. 第 58 回 日本栄養・食糧学会 中四国支部大会, 高知 (2025. 11. 8-9)
8. 小柳彩華, 松田 美沙, 近藤 (比江森) 美樹. フキ (*Petasites japonicus*) の葉抽出物の糖質・脂質吸収抑制効果. 日本農芸化学会 2026 年度大会, 京都 (2026. 3. 9-12)

【報告書】

1. 近藤美樹 (2025) フキの新機能である血糖値上昇抑制作用の解析及び糖尿病対策への活用に向けた基礎研究. 科学研究費助成事業研究成果報告書, p1-7.
2. 近藤美樹 (2025) アントシアニン含有「藤野菜」の高付加価値化を目指した研究: 色素および機能の解析. 科学研究費助成事業実施状況報告書 p1-3.

Ⅲ. 委員会活動

1. 大学運営会議構成委員 (全学)
2. 教育研究審議会構成委員 (全学)
3. 内部質保証専門部会委員 (全学)
4. 立志社中運営委員会委員 (全学)
5. 教職課程専門委員会委員 (全学)
6. 研究倫理審査委員会委員 (全学)
7. 研究不正防止委員会委員 (全学)
8. 紀要専門部会委員長 (全学)
9. 教員評価専門会議委員 (全学)
10. 戦略的研究推進プロジェクトの審査・評価部会員 (全学)
11. 健康栄養学部運営委員 (学部)
12. 人事委員会委員 (学部)
13. 教務委員 (学部)
14. 学修者本位の学びの未来構想プロジェクト学部専門教育科目ワーキング委員長 (学部)
15. 人間生活学研究科委員会議長 (大学院)
16. 入学試験実施専門部会員 (大学院)
17. 奨学金返還免除審査委員 (大学院)
18. 大学院研究助成審査会委員 (大学院)
19. 高知県立大学後援会学生研究等支援事業審査委員 (大学院)
20. ウェルビーイング学領域ワーキング委員 (大学院)
21. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 本栄養・食糧学会会員 (代議員・参与)
2. 日本栄養改善学会会員 (評議員)
3. 日本フードファクター学会会員 (評議員)
4. 日本調理科学会会員 (支部役員)
5. 日本農芸化学会会員
6. 日本栄養士会会員
7. 高知県栄養士会会員
8. 高知県教育委員会研究員
9. 高知県食育連携推進協議会委員
10. 高知県食の安全・安心推進審議会会長
11. 第 78 回全国植樹祭高知県実行委員会委員

12. 令和7年度事業所健康づくり支援事業委託業務公募型プロポーザル審査委員
13. 日本栄養改善学会誌査読
14. 日本栄養・食糧学会誌査読
15. Journal of Food Composition and Analysis 査読
16. 第10回 日本栄養改善学会 四国支部学術総会会長
17. 第58回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会実行委員

【講演・講習会】

1. 第98期 高知市民の大学 総合コース「高知発！食と健康」における講師 高知市民の大学運営委員会公益財団法人高知市文化振興事業団「保健機能食品の意味と使い方」2025年10月17日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和7年度（継続）「アントシアニン含有「藤野菜」の高付加価値化を目指した研究：色素および機能の解析」研究代表者
1,300千円（令和7年度分）

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- ・卒業研究
- ・給食計画論
- ・給食経営管理臨地実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ
- ・健康栄養フィールドワーク

【大学院】

- ・災害栄養フードマネジメント論

【非常勤】

- ・食物学概論 高知大学教育学部
- ・愛媛大学 教育学部 子どもの食と栄養（オムニバス）
- ・高知学園大学 災害と生活
- ・RKC 調理製菓専門学校（ハラル食について 2 コマ）

II. 研究活動

【学会発表】

国際学会発表

1. 島田郁子

Strengthen Shikoku Interregional Cooperation!

Report on Shikoku Region Disaster Preparedness Coordination Workshop

World Association for Disaster and Emergency Medicine (WADEM) 第23回国際災害救急救命学会 東京大会（2025年5月）

2. Ikuko Shimada, Chiaki Shimazaki, Masako Chikada, Kokoa Tamura, Tomohisa Koyama, Tomoko Hirouchi and Takahiro Tachiki

Vitamin D Intake among Middle-Aged and Elderly Individuals in K Prefecture, Aiming to Preventing Frailty

INTERNATIONAL CONFERENCE OF FOOD SECURITY 2025 (ICFS 2025) 11-12 NOVEMBER 2025
（2025年11月オンライン）

国内学会発表

1. 森温子、別府朋加、笹岡晴香、島田郁子、椋清美、Chansamone Thanabousay、Nanthasane Vannavong、Weerachai Saijuntha、Naruemon Bunchom、石上盛敏、吾妻健

2023年度ラオスにおける顧みられない熱帯病に関する住民調査報告
第40回日本国際保健医療学会学術総会 東京（2025年11月）

2. 芦田真子、小山智久、岡田千愛、岡田桃果、田代夏央、島田郁子

災害発生時を想定したレシピの実現可能性と適合性の検証
第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会 高知（2025年6月）

3. 島田郁子、高橋希乃花、中岡厚太、廣内智子、小山智久

災害を想定したレシピ本の分析～学校教材としての比較～

- 日本災害食学会 2025 年度学術大会（第 13 回研究発表会） 兵庫（2025 年 8 月）
4. 佐久間直緒美、香西はな、島田郁子
630 食の学校給食施設作業におけるきのこの水洗い後の重量変化
第 72 回日本栄養改善学会 東京（2025 年 9 月）
 5. 島田郁子、永井風歌、鉦崎ひかる、芦田真子、島崎千昌、田村心愛、近田雅子、
古谷あかり、小山智久
大量調理実習における厨房内温湿度の変化と調理機器の影響
第 71 回日本家政学会中国・四国支部研究発表会 広島（2025 年 10 月）
 6. 小山智久、鉦崎ひかる、島崎千昌、田村心愛、近田雅子、永井風歌、古谷あかり、
芦田真子、島田郁子
給食経営管理実習におけるリスクマネジメント報告の分析
第 20 回日本給食経営管理学会 東京（2025 年 10 月）
 7. 佐久間直緒美、香西はな、布川美穂、島田郁子
油抜きは“勘”から“科学”へー600 食の実調査から見た調理工程の標準化ー
第 20 回日本給食経営管理学会 東京（2025 年 10 月）

Ⅲ. 委員会活動

1. 国際交流センター（副センター長）
2. 災害対策推進ワーキンググループ委員
3. 国際交流 WG メンバー
4. 学部教務委員
5. 臨地実習委員会（委員長）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）リーダー運営委員
2. JDA-DAT 国際支援メンバー
3. 土佐市社会福祉事業団理事
4. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員
5. 高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員長
6. 安芸市学校給食運営委員

【その他】

1. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会実行委員
2. 日本家政学会 中国・四国支部 常任幹事・機関幹事
3. 日本栄養改善学会 評議員 学会誌査読委員
4. 日本災害食学会 学術委員
5. 地域活性学会 査読担当者

【講演・講習会】

1. 日本の災害対応と災害食について 授業担当講師（英語対応）
インドネシアチプトラ大学 2025 年 3 月 19 日
2. 大学出前講座 災害と向き合うには 講師 高知県立安芸高等学校 2025 年 7 月 15 日
3. オープンキャンパス 災害について 公開授業講師 高知県立大学池キャンパス

2025 年 7 月 26 日

4. 四国地区災害対策連携会議（研修会） 企画運営 当日司会担当
総合あんしんセンター 高知県栄養士会事務局 2025 年 7 月 27 日
5. SP 模擬患者実習 模擬患者 高知大学医学部 2025 年 7 月 29 日
6. 災害時の食事をどうする？ 愛南町防災教育プログラム パッククッキング担当
愛媛県愛南町立福浦小学校 2025 年 8 月 8 日
7. 令和 7 年度高知県特別支援学校給食研究協議会調理職員等研修会 災害時の食への備え
講師 高知県立山田特別支援学校 2025 年 8 月 21 日
8. 共同調理場における BCP についての職員研修会 災害との向き合い方を考える 講師
ちより街テラス会議室 高知県学校給食共同調理場協議会 2025 年 8 月 22 日
9. 災害食調理と講義 講師 高知県立大学池キャンパス
高知市三里地区サロン活動継続支援プロジェクト 2025 年 9 月 10 日
10. 栄養管理研修会 講師 町田市役所 2025 年 9 月 12 日
11. 食育について 講師 南国市上下水道局 2 階会議室 2025 年 9 月 18 日
12. 島根県栄養士会生涯教育研修会 災害支援・災害時の栄養と食事 講師
オンライン 2025 年 9 月 21 日
13. 高知市学校給食調理等業務プロポーザル選定委員会 選定委員長
総合あんしんセンター 2025 年 7 月 9 日 2025 年 10 月 31 日
14. 日本栄養士会 JDA-DAT リーダー育成・スキルアップ研修 運営委員
岡山県生涯学習センター 2025 年 10 月 12、13 日
15. 高知医療センター災害合同訓練 災害対策プロジェクト
高知県立大学池キャンパス 2025 年 10 月 19 日
16. 高知県主催 防災士養成講座 講師
香南市 田野町 四万十市 2025 年 10 月 19、26 日、11 月 16 日、12 月 14 日
17. 第 98 期高知市民の大学 災害食が必要な理由 講師
高知市文化プラザかるぼーと 2025 年 10 月 24 日
18. 安芸市学校給食センター運営委員会 運営委員 安芸市学校給食センター
2025 年 12 月 23 日

V. 研究助成

【学外】

1. 分担研究者；ラオスにおける顧みられない熱帯病（NTDs）の 1 つ、タイ肝吸虫感染症予防対策のための児童教育（研究代表者 高知大学看護学部 笹岡晴香）
科学研究費基盤 C 3 年間 300 万円
2. 共同研究者；フレイルの多面性に着目した生活習慣とフレイルの関連の検討
ーフレイル予防からはじまる健康のリ・デザインプロジェクト（研究代表者 看護学部 立木隆弘） 1 年間 60 万円
3. 分担研究者；全被災者の安否・健康状態を把握し共有する仕組み COACHES 実証研究
（研究代表者 看護学部木下真里）科学研究費基盤 C 3 年間 300 万円
4. 共同研究者；課題名：日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）に求められる新たな支援ニーズの検討（研究代表者 お茶の水女子大学 須藤紀子） 高橋経済産業研究財団
1 年間 150 万円

I. 教育活動

【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・生化学 II (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・研究方法論 I (オムニバス)
- ・栄養・生活特論 I (オムニバス)
- ・栄養・生活特論 II (オムニバス)

【非常勤】

- ・高知大学 医学部

II. 研究活動

【論文】

1. 鈴木麻希子, 吉野葵. 卵白アレルギー「リポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素」の消化性と酵素活性. 日本栄養・食糧学会誌 2025;78(3):161-171.
2. 鈴木麻希子, 大下永愛, 竹本和仁. BG 無洗米と精白米のリン・カリウム含有量に洗米が及ぼす影響. 栄養学雑誌 2025;83(5): 223-229.

【学会発表】

1. 鈴木麻希子, 小野田結衣. 加齢と高脂肪食が脳皮質の糖代謝に及ぼす影響. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会 (2025. 5. 25.)
2. 伊藤瑞月, 奥村風香, 篠崎文葉, 廣元理奈, 柳本麻衣, 吉村真彩, 岡林由夏, 隅田有公子, 鈴木麻希子. 加工食品の摂取実態と加工肉のリン摂取量. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会 (2025. 6. 21.)
3. 鈴木麻希子, 奥村風香, 篠崎文葉, 廣元理奈, 柳本麻衣, 吉村真彩, 隅田有公子, 伊藤瑞月, 小島望知, 松田千愛. リン摂取量が腎機能に及ぼす影響 ～製品ごとに異なる加工肉由来のリン量を考慮した解析～ 第 72 回日本栄養改善学会学術総会 (2025. 9. 14)
4. 谷村菜々香, 松浦由依, 秋森叶羽, 福島瑞葵, 吉田奈緒子, 戸田夕芽, 鈴木麻希子. ヒト乳がん細胞 (MCF-7) における PRMT4 発現抑制による増殖抑制機構. 第 58 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会 (2025. 11. 9.)

Ⅲ. 委員会活動

1. 学部入試実施専門部会員
2. 共通テスト実施専門部会員
3. 学部作問検討部会員
4. 研究倫理審査委員
5. 学修者本位の学びの未来構想プロジェクト学部専門教育科目ワーキング委員
6. 学年担当（2022 年度入学生）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 社団法人 日本栄養士会会員
4. 社団法人 高知県栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会生涯教育委員
6. 管理栄養士国家試験委員
7. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会運営委員
8. 第 58 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会実行委員

【講演・講習会】

1. 高知県栄養士会生涯学習研修会「食事摂取基準 2025 年版の理解と活用」2025 年 8 月 3 日
2. 高知市民の大学 第 98 期 総合コース「高知発！食と健康」
「各栄養素のはたらきとバランスよく摂ることの意義」 2025 年 10 月 10 日
3. 高知県栄養士会生涯学習研修会「食事摂取基準 2025 年版の理解と活用」オンデマンド配信
2025 年 11 月 30 日～2026 年 1 月 12 日
4. 高校生のための公開講座「県大立志塾 2025」第 3 回「10 代の食生活によって実現する将来の骨太生活」2025 年 12 月 20 日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 公益信託高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」令和 5 年度研究助成（継続）
100 万円（2024. 4～2026. 3）

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学 I
- ・臨床栄養学 II
- ・臨床栄養学 III
- ・臨床実践栄養学（共担）
- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・生化学 II（2 回担当）
- ・生体科学実験・実習（3 回担当）
- ・管理栄養士総合演習 I（8 回担当）
- ・管理栄養士総合演習 II（3 回担当）
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・卒業研究
- ・栄養学（看護学科）

【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・研究方法論 I（3 回担当）
- ・栄養・生活特論（5 回担当）
- ・栄養・生活学課題研究演習

【大学院・人間生活学研究科（博士後期課程）】

- ・研究倫理（2 回担当）

II. 研究活動

【著書】

1. 竹井悠一郎、隅田有公子、山之内大. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の新規治療標的としての破骨細胞. *BI0 Clinica* 2025;40(11):75-79. 北隆館
2. 竹井悠一郎、隅田有公子、山之内大. 骨外軟組織に発現する破骨細胞様細胞を標的とした慢性閉塞性肺疾患（COPD）の新規治療標の確立に向けて. *アレルギーリウマチ性疾患* 2026;46(1):43- 47. 北隆館

【学会発表】

1. 隅田有公子、児島結愛、山本響香、竹井悠一郎. 経腸栄養剤を使用したとろみ液の物性評価. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会 高知 6 月 21 日
2. 中城仁暉、竹井悠一郎、山之内大. 糖尿病高血糖が血管破骨細胞様細胞の形成を阻害させ、動脈瘤形成を抑制する. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会 高知 6 月 21 日
3. 隅田有公子、松本あすか、中城仁暉、竹井悠一郎. サッカークラブ・ジュニアユース選手を対象とした栄養教育の効果について. 日本食育学術会議第 19 回大会 愛知 6 月 29 日
4. Iji M, Takemoto K, Luo H, Misawa R, Tanaka M, Takei Y, Miura Y, Watanabe H. Anti-obesity effects of acylated steryl- β -glycosides in high-fat/high-sucrose diet-induced obese mice. 23rd IUNS-ICN Paris, 2025 Aug. 24-29th
5. 隅田有公子、児島結愛、山本響香、竹井悠一郎. 増粘剤と経腸栄養剤の組み合わせによるとろみ液の物性評価. 第 72 回日本栄養改善学会学術総会 東京 9 月 14 日

【その他報告書】

1. 竹井悠一郎. 高知ユナイテッド SC ジュニアユース選手への食育支援. 栄養士佐 はちきん第 45 巻. 28-29. 2025 年

Ⅲ. 委員会活動

1. 教務委員
2. 学部教務委員
3. 臨地実習委員
4. 学部国際交流 WG 員
5. 学部入試問題検討委員
6. 学修者本位の学びの未来構想プロジェクト健康栄養学部専門教育検討 WG 員
7. 近森病院見学担当
8. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会員
9. 動物実験専門部会員
10. 人間生活学研究科委員
11. 人間生活学研究科博士前期課程教務委員
12. 人間生活学研究科博士前期課程教務委員
13. 人間生活学研究科ウェルビーイング WG 員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会正会員（評議員）
2. 日本栄養・食糧学会正会員（参与）
3. 日本食育学会正会員（理事）
4. 日本骨代謝学会正会員
5. 日本ビタミン学会正会員
6. フードサイエンスフォーラム正会員
7. 日本栄養士会会員
8. 高知県栄養士会会員（理事）
9. 日本栄養士連盟高知支部会員
10. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会運営委員
11. 第 58 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会実行委員

【講演・講習会】

1. 高知 SP 研究会 SP 養成講座 スタッフ 2025 年 4 月 27 日
2. 高知県栄養士会 定時総会 スタッフ 2025 年 5 月 31 日
3. 高知市いきいき健康チャレンジ 2025 応援講座～栄養編～ 講師 2025 年 7 月 5 日
4. 高知県栄養士会 生涯教育実務研修会 スタッフ 2025 年 7 月 21 日
5. 高知県栄養士会 生涯教育実務研修会 スタッフ 2025 年 8 月 3 日
6. 高知県栄養士会 生涯教育実務研修会 スタッフ 2025 年 8 月 9 日
7. 高知県栄養士会 生涯教育実務研修会 スタッフ 2025 年 8 月 30 日
8. 高知県栄養士会 新人研修会 講師 2025 年 9 月 15 日
9. 高知県立大学健康栄養学部 FD 研修会 講師 2025 年 10 月 1 日
10. 高知県栄養士会 県民公開講座 スタッフ 2025 年 11 月 8 日
11. 第 98 期高知市民の大学（金曜・総合コース） 講師 2025 年 11 月 21 日
12. 高知県栄養士会 生涯教育実務研修会 スタッフ 2025 年 12 月 6 日
13. 令和 7 年度域学共生連携拡大会議 講師 2025 年 12 月 23 日

【その他】

1. 高知県栄養士会生涯教育委員長
2. 高知県栄養士会はちきん編集委員
3. 高知県栄養士会 SNS 検討委員
4. 高知県アルコール健康障害・依存症対策推進協議会委員（2026 年 9 月まで）
5. 医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科 研究倫理委員会外部委員
6. 第 40 回国試対策 管理栄養士国家試験 全国統一模擬試験 かんもし 作問者
7. 学生サークル『叢雲』 顧問

IV. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤 C 令和 7 年度（新規） 「腸管および血管破骨細胞様細胞のキャラクタライゼーションと臓器障害に関する研究」 研究代表者 1,000 千円（令和 7 年度分）

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習Ⅰ
- ・調理学実習Ⅱ
- ・調理学実習Ⅲ
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・卒業研究

【非常勤】

- ・龍馬看護ふくし専門学校

II. 委員会活動

1. キャリア支援専門委員
2. 健康栄養に係る研究倫理審査専門委員
3. 学部研究倫理審査委員

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会運営委員
5. 第58回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会実行委員

【講演・講習会】

1. 高知県調理師試験準備講習会「栄養学」講師 2025年9月17日

I. 教育活動

【学部】

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・栄養教育論Ⅰ（オムニバス） | ・介護論（オムニバス） |
| ・学校栄養指導論Ⅰ（オムニバス） | ・食と介護（実習） |
| ・学校栄養指導論Ⅱ（共担） | ・臨床実践栄養学（共担） |
| ・栄養教育論実習Ⅰ（共担） | ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス） |
| ・健康栄養学応用（オムニバス） | ・地域実践栄養学臨地実習（共担） |
| ・専門職連携論（共通教養） | ・卒業研究 |

【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・実践栄養学特論（共担）

【非常勤】

- ・学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校 RKC 製菓衛生師養成課程 栄養学

II. 研究活動

【著書】

1. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 山之内大. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の新規治療標的としての肺破骨細胞, BIO Clinica, 40(11):75-79, 2025
2. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 山之内大. 骨外軟組織に発現する破骨細胞様細胞を標的とした慢性閉塞性肺疾患（COPD）の新規治療法の確立に向けて, アレルギー∞リウマチ性疾患, 46(1):43-47, 2026

【学会発表】

1. 隅田有公子, 児島結愛, 山本響香, 竹井悠一郎. 経腸栄養剤を使用したとろみ液の物性評価, 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知 (2025. 6. 21)
2. 田中千尋, 隅田有公子, 竹本和仁, 井治賢希, 彼末富貴, 渡邊浩幸. 食でつながる集いの場づくりを目指す実践活動報告, 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知 (2025. 6. 21)
3. 伊藤瑞月, 奥村風香, 篠崎文葉, 廣元理奈, 柳本麻衣, 吉村真彩, 隅田有公子, 鈴木麻希子. 加工食品の摂取実態と加工肉のリン摂取量, 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知 (2025. 6. 21)
4. 隅田有公子, 松本あすか, 中城仁暉, 竹井悠一郎. サッカークラブ・ジュニアユース選手を対象とした栄養教育の効果について, 日本食育学術会議第19回大会, 愛知 (2025. 6. 29)
5. 鈴木麻希子, 奥村風香, 篠崎文葉, 廣元理奈, 柳本麻衣, 吉村真彩, 隅田有公子, 伊藤瑞月, 小島望知, 松田千愛. リン摂取量が腎機能に及ぼす影響～製品ごとに異なる加工肉由来のリン量を考慮した解析～, 第72回日本栄養改善学会学術総会, 東京 (2025. 9. 14)
6. 隅田有公子, 児島結愛, 山本響香, 竹井悠一郎. 増粘剤と経腸栄養剤の組み合わせによるとろみ液の物性評価, 第72回日本栄養改善学会学術総会, 東京 (2025. 9. 14)

7. 吉村亮二, 真境名拓馬, 隅田有公子, 竹井悠一郎. ロイシンとグルタミン同時摂取による相乗的筋タンパク質合成促進作用へのインスリンの寄与に関する研究, 日本アミノ酸学会第19回学術大会, 愛知 (2025. 11. 23)

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康長寿研究センター運営会議委員
2. FD 専門部会委員
3. 臨地実習委員
4. 国際交流 WG 員
5. 近森病院見学担当
6. 包括連携料理教室担当
7. 健康栄養学部専門教育検討 WG 員
8. リ・デザインプロジェクト担当
9. 人間生活学研究科博士前期課程人権委員会委員
10. 人間生活学研究科ウェルビーイング WG 員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人 日本栄養士会会員
2. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本栄養・食糧学会会員
5. 日本病態栄養学会会員
6. 日本栄養治療学会会員
7. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員
8. 日本未病学会会員
9. 日本食育学会協議理事
10. 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会実行委員
11. 第58回日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会実行委員

【講演・講習会】

1. 令和7年度 訪問看護スタートアップ研修 講師、2025年7月3日、12月11日
2. 令和7年度 入退院支援事業 第5回多職種協働研修 講師、2025年9月11日
3. 令和7年度 高知県立大学地域共生学研究機構シンポジウム パネリスト、2025年11月7日
4. 第98期 高知市民の大学 講師、2025年11月14日
5. 包括連携・健康栄養学部 FD 研修会 講師、2026年1月19日

【その他】

1. 健康長寿研究センター事業 つながる保健室 スタッフ、2025年10月4日、11月30日
2. 高知医療センター・高知県立大学包括連携事業 生活習慣病予防のための料理教室 スタッフ、2025年11月29日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和3年度 「経腸栄養剤の粘性付加に関する検討」 研究代表者
2. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤C 令和4年度 「慢性閉塞性肺疾患患者の再入院予防の地域病院多職種協働型入退院支援ガイドライン開発」 研究分担者

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・食品学
- ・食べ物の栄養素と機能
- ・生化学Ⅱ（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・食品学実験Ⅱ
- ・HACCP 管理論（オムニバス）
- ・食材学
- ・食品衛生学
- ・国際食品安全学（補助）
- ・食品学実験Ⅰ
- ・食品衛生学実験

【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校
- ・高知大学 農林海洋科学部 農芸化学科

II. 研究活動

【論文】

1. Ryosuke Misawa, Kazuhito Takemoto, Masaki Iji, Luo Hao , Akari Koresawa, Hiroyuki Watanabe. Utility of mast cell P815 for evaluating Fc ϵ RI-dependent and Fc ϵ RI-independent allergic effects. *Allergol Immunopathol*, 53(4). P119-127(2025).
2. 鈴木 麻希子, 大下 永愛, 竹本 和仁. BG 無洗米と精白米のリン・カリウム含有量に洗米が及ぼす影響. 栄養学雑誌, 83(5). p223-229(2025)

【学会発表】

1. 三澤 伶輔, 竹本 和仁, 井治 賢希, 羅 昊, 小山 智久, 渡邊浩幸. クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)
2. 門脇 愛美, 井治 賢希, 竹本 和仁, 小山 智久, 渡邊 浩幸. 近赤外分光法による Low- methoxy (LM) ペクチンゲルの硬度測定. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)
3. 前田 律子, 竹本 和仁, 三澤 伶輔, 羅 昊, 門脇 愛美, 竹田 千奈都, 井治 賢希, 小山 智久, 渡邊 浩幸. イタドリ茎部が食物アレルギーモデルマウスに与える影響. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)
4. 井治 賢希, 竹本 和仁, 小山 智久, 羅 昊, 三澤 伶輔, 渡邊 浩幸. 高脂肪高ショ糖食マウスへのアシル化ステロール配糖体投与による視床下部の FGF21signaling 亢進と体脂肪量蓄積抑制作用との関係. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)
5. 小山 智久, 竹本 和仁, 井治 賢希, 三澤 伶輔, 羅 昊, 渡邊 浩幸. 小麦粉ドウの食塩濃度の違いによる硬度変化と近赤外線スペクトルの変化—高純度グルテニン・グリアジン混合との比較—. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)
6. 竹本 和仁, 安岡 優香, 羅 昊, 三澤 伶輔, 小山 智久, 井治 賢希, 渡邊 浩幸. マウス骨格筋細胞 C2C12 株の脂肪酸添加培養による脂肪蓄積性について. 第 79 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋(2025 年 5 月 23 日～25 日)

7. 三澤 伶輔、竹本 和仁、井治 賢希、羅 昊、渡邊 浩幸. クロモジ抽出物投与によるマウス骨格筋増強作用とメカニズム. 第 58 回日本栄養・食糧学会大会中国・四国支部大会、高知(2025 年 11 月 8 日～9 日)
8. 井治 賢希、竹本 和仁、小山 智久、羅 昊、三澤 伶輔、渡邊 浩幸. 医薬品開発を支える創薬から生産へのシーズ探索 穀類から抽出される Acylated Steryl- β -Glycosides は、高脂肪高ショ糖食摂取による腸内細菌叢の悪化を改善し体脂肪を低下させる. 令和 6 年度医工連携交流会（高知県立大学）（2025 年 2 月 26 日）
9. 竹本 和仁、田 甘霖、羅 昊、井治 賢希、小山 智久、三澤 伶輔、渡邊 浩幸. 医薬品開発を支える創薬から生産へのシーズ探索. 野菜から創薬へ： 日常野菜の抗アレルギー効果の秘密を解き明かす. 令和 6 年度医工連携交流会（高知県立大学）（2025 年 2 月 26 日）
10. Masaki Iji, Kazuhito Takemoto, Hao Luo, Ryouyuke Misawa, Mamoru Tanaka, Yuichiro Takei, Yoichi Miura, Hiroyuki Watanabe. Anti-obesity effects of acylated steryl- β -glycosides in high-fat/high-sucrose diet-induced obese mice. International Union of Nutritional Sciences (IUNS) -ICN2025 (Paris) . （2025 年 8 月 24 日～29 日）

Ⅲ. 委員会活動

1. 共通教育専門部会委員
2. 入試監査委員
3. 健康栄養学部就職支援委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員
5. 健康栄養学部国際交流 WG メンバー
6. リ・デザインプロジェクト「みんなでサロン」実施委員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 若手栄養学研究者の集い会員
3. 日本食品科学工学会会員
4. 社団法人日本農芸化学会会員
5. 日本肥満学会会員
6. 日本食品保蔵学会会員
7. 高知県産学官民連携コーディネーター
8. 藤の川冬祭神楽保存会会員

【講演会講習会】

1. HACCP管理者HACCP講座（学内講習会）
2. 県民大学公開講座

【その他】

1. リ・デザイン・プロジェクト 第1回「みんなでサロン」
2. リ・デザイン・プロジェクト 第2回「みんなでサロン」
3. とさ出汁フェスプロジェクト 出展

I. 教育活動

【学部】

- ・専門職連携論（オムニバス）
- ・公衆栄養学Ⅰ
- ・健康情報論実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・卒業研究
- ・介護論（オムニバス）
- ・公衆栄養学Ⅱ
- ・地域公衆栄養学実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・地域実践栄養学臨地実習

II. 研究活動

【論文】

1. Murai U, Ishihara J, Takachi R, Kito K, Ishii Y, Yamagishi K, Inoue M, Yamaji T, Iwasaki M, Tsugane S, Sawada N; JPHC Study Group. Japanese Diet Index Score and Cause-Specific Mortality in Japanese Men and Women: The Japan Public Health Center-Based Prospective Study. J Nutr. 2025;155:3726-3736.

【学会発表】

1. 村井詩子, 太田舞花, 原菜月, 山口真優. ナトリウム・カリウム比とエネルギーや栄養素摂取量との関連. 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会. 高知 (2025.6)

III. 委員会活動

1. 臨地実習委員（学部）
2. 管理栄養士国家試験対策委員（学部）
3. 未来構想プロジェクトワーキンググループ委員（学部）
4. 国際交流ワーキンググループ委員（学部）
5. 入試監査委員
6. 人権委員
7. 学年担当（2025年度入学生）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本疫学会会員
2. 日本公衆衛生学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本栄養・食糧学会会員
5. 日本栄養士会会員
6. 高知県栄養士会会員
7. 高知県アルコール健康障害・依存症対策推進協議会委員（9月1日より）

【講演・講習会】

1. 高知県新任期行政栄養士研修会（前期） 講師、2025 年 6 月 18 日
2. 高知県立大学オープンキャンパス 2025 模擬授業 講師 2025 年 7 月 26 日
3. 第 42 回本山町・本山町老人クラブ連合会・高知県立大学公開講座 「夜學」 2025 講師
2025 年 10 月 8 日
4. 第 98 回高知市民の森大学、講師、2025 年 11 月 7 日
5. 高知県行政栄養士等育成研修会 講師、2025 年 11 月 11 日
6. 高知県新任期行政栄養士研修会（後期） 講師、2025 年 12 月 2 日
7. いきいきセカンド☆ライフ講座 講師、2026 年 1 月 14 日
8. 産業保健研修会 講師、2026 年 3 月 12 日

【その他】

1. 第 10 回日本栄養改善学会四国支部学術総会実行委員

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手 令和 2 年度 「植物性食品および食塩に着目した健康的な日本食パターンの構築とがん罹患との関連」 研究代表者

I. 教育活動

【学部】

- ・栄養と健康
- ・生化学Ⅱ（オムニバス）
- ・食品学実験Ⅰ（補助）
- ・食品衛生学実験（補助）
- ・地域学実習Ⅰ
- ・HACCP 管理論（オムニバス）
- ・食品学実験Ⅱ（補助）
- ・食と介護（補助）

II. 研究活動

【論文】

1. R. Misawa, K. Takemoto, M. Iji, L. Hao, A. Koresawa, H. Watanabe, Evaluation of P815 as a model for assessment of FcεRI-mediated and non-mediated degranulation response to allergens, *allergologia et immunopathologia*, 2025, 53(4), 119-127

【学会発表】

1. 井治賢希、竹本和仁、小山智久、羅昊、三澤伶輔、渡邊浩幸. 高脂肪高ショ糖食マウスへのアシル化ステロール配糖体投与による視床下部の FGF21 signaling 亢進と体脂肪量蓄積抑制作用との関係, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
2. 門脇愛美, 井治賢希, 竹本和仁, 小山智久, 渡邊浩幸. 近赤外分光法による Low-methoxy (LM) ペクチンゲルの硬度測定, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
3. 小山智久, 竹本和仁, 井治賢希, 三澤伶輔, 羅昊, 渡邊浩幸. 小麦粉ドウの食塩濃度の違いによる硬度変化と近赤外線スペクトルの変化—高純度グルテン・グリアジン混合との比較—, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
4. 三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 小山智久, 羅昊, 渡邊浩幸. クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
5. 竹本和仁, 安岡優香, 羅昊, 三澤伶輔, 小山智久, 井治賢希, 渡邊浩幸. マウス骨格筋細胞 C2C12 株の脂肪酸添加培養による脂肪蓄積性について, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
6. 前田律子, 竹本和仁, 三澤伶輔, 羅昊, 門脇愛美, 長崎佳保里, 井治賢希, 小山智久, 渡邊浩幸. イタドリ茎部が食物アレルギーモデルマウスに与える影響, 第 79 回日本栄養・食糧学会, 愛知 (2025 年 5 月)
7. Masaki Iji, Kuniyuki Yamada, Yuta Yamane, Chihiro Watanabe, Kazuhito Takemoto, Mamoru Tanaka, Yuichiro Takei, Yoichi Miura, Hiroyuki Watanabe. Effects of acylated steryl-β-glycosides on body fat and lipid metabolism in high-fat, high-sucrose diet-induced obese mice, 23rd IUNS-International Congress of Nutrition, Paris (2025.8)
8. 三澤伶輔, 竹本和仁, 井治賢希, 羅昊, 渡邊浩幸. クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響, 第 58 回 日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会, 高知 (2025 年 11 月)

Ⅲ. 委員会活動

1. 地域教育研究センター運営委員
2. 学部広報担当
3. リ・デザインプロジェクト担当
4. 学部就職支援担当
5. 学部包括連携事業担当
6. 学年副担当（2025 年入学）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本食品保蔵学会会員
3. 高知県産学官民連携コーディネーター
4. 地域共生学研究機構リ・デザインプロジェクト担当
5. 高知県イタドリ生産普及販売促進協議会支援
6. 第 58 回日本栄養食糧学会中国四国支部実行委員

【講演会講習会】

1. HACCP管理者HACCP講座（学内講習会）2025年3月25～27日
2. 第2回ココブラサロン 講師 2025年8月18日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 一般財団法人 高銀地域経済振興財団助成：「令和 6 年度 研究課題等に関する助成金」
2. 2025 年度栄養・食糧学基金「国際交流助成」

I. 教育活動

【学部】

- | | |
|------------------|-------------------|
| ・健康栄養学基礎（オムニバス） | ・生化学Ⅱ（オムニバス） |
| ・栄養教育論実習Ⅰ（補助） | ・栄養教育論実習Ⅱ（補助） |
| ・学校栄養教育実習（補助） | ・教職実践演習（一部補助） |
| ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ（補助） | ・給食経営管理臨地実習（補助） |
| ・管理栄養士総合演習Ⅰ（補助） | ・健康栄養フィールドワーク（補助） |

【非常勤】

- ・RKC 調理製菓専門学校 製菓衛生師科 衛生法規

II. 研究活動

【学会発表】

1. 小山智久、竹本和仁、井治賢希、三澤伶輔、羅昊、渡邊浩幸. 小麦粉ドウの食塩濃度の違いによる硬度変化と近赤外線スペクトルの変化—高純度グルテニン・グリアジン混合との比較—. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
2. 門脇愛美、井治賢希、竹本和仁、小山智久、渡邊浩幸. 近赤外分光法による Low-methoxy (LM) ペクチンゲルの硬度測定. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
3. 井治賢希、竹本和仁、小山智久、羅昊、三澤伶輔、渡邊浩幸. 高脂肪高シヨ糖食マウスへのアシル化ステロール配糖体投与による視床下部の FGF21signaling 亢進と体脂肪量蓄積抑制作用との関係. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
4. 三澤伶輔、竹本和仁、井治賢希、小山智久、羅昊、渡邊浩幸. クロモジ抽出物投与によるマウスの骨格筋への影響. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
5. 竹本和仁、安岡優香、羅昊、三澤伶輔、小山智久、井治賢希、渡邊浩幸. マウス骨格筋細胞 C2C12 株の脂肪酸添加培養による脂肪蓄積性について. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
6. 前田律子、竹本和仁、三澤伶輔、羅昊、門脇愛美、長崎佳保里、井治賢希、小山智久、渡邊浩幸. イタドリ茎部が食物アレルギーモデルマウスに与える影響. 第79回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋(2025. 5. 23-25)
7. 芦田真子、小山智久、岡田千愛、岡田桃果、田代夏央、島田郁子. 災害発生時を想定したレシピの実現可能性と適合性の検証. 第10回栄養改善学会 四国支部学術総会, 高知(2025. 6. 21)
8. 島田郁子、高橋希乃花、中岡厚太、廣内智子、小山智久. 災害を想定したレシピ本の分析—学校教材としての比較—. 日本災害食学会 2025 年度学術大会, 神戸(2025. 8. 23-24)
9. 島田郁子、永井風歌、鵜崎ひかる、芦田真子、島崎千昌、田村心愛、近田雅子、古谷あかり、小山智久. 大量調理実習における厨房内温湿度の変化と調理機器の影響. 第71回日本家政学会中国・四国支部研究発表会, 広島(2025. 10. 5)
10. 小山智久、鵜崎ひかる、島崎千昌、田村心愛、近田雅子、永井風歌、古谷あかり、芦田真子、島田郁子. 給食経営管理実習におけるリスクマネジメント報告の分析. 第20回日本給食経営管理学会学術総会, 坂戸(2025. 10. 11-12)

11. Ikuko Shimada, Chiaki Shimazaki, Masako Chikada, Kokoa Tamura, Tomohisa Koyama, Tomoko Hirouchi, Takahiro Tachiki. Vitamin D Intake Among Middle-Aged and Elderly Individuals in K Prefecture, Aiming to Preventing Frailty. INTERNATIONAL CONFERENCE ON FOOD SECURITY 2025, Kuala Lumpur (online) (2025.11.12)

Ⅲ. 委員会活動

1. 臨地実習委員会（学部）
2. 学部入試実施専門部会員（学部）
3. 学年副担当（2022 年度入学生）
4. 生協委員（学部）
5. 池事業所衛生委員（組合代表）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 公益社団法人日本薬学会会員
4. 公益社団法人日本栄養食糧学会会員
5. 特定非営利活動法人日本栄養改善学会会員
6. 一般社団法人日本給食経営管理学会会員
7. 一般社団法人日本食品保蔵学会会員

【講演・講習会】

1. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会「生活習慣病予防のための料理教室」
運営スタッフ（調理補助）2025 年 11 月 29 日

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・生化学Ⅱ（オムニバス）
- ・環境衛生学実習
- ・基礎栄養学実験（補助）
- ・地域公衆栄養学実習（補助）
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ（補助）
- ・健康栄養学応用（オムニバス）
- ・生体科学実験・実習
- ・運動生理学（補助）
- ・応用栄養学実習（補助）
- ・健康情報論実習（補助）
- ・地域公衆栄養学臨地実習（補助）

II. 研究活動

【論文】

1. Kiyoshi Yoshioka, Takumi Sugimoto, Mamoru Oyabu, Naoki Ito, Aoi Kodama, Yasutomi Kamei, Shin-ichiro Imai. Human plasma-derived eNAMPT-containing extracellular vesicles promote NAD⁺ biosynthesis and thermogenesis in mice. *npj Aging* **11**(1): 106. (2025)

【学会発表】

1. 杉本拓海, 横山さや香, 菊池天音, 田中守. 食用サボテン摂取による脂質代謝改善効果の分子メカニズム解明, 日本農芸化学会 2026 年度 京都大会, 京都 (2026 年 3 月)
2. 杉本拓海, 畑澤幸乃, 三浦進司, 亀井康富. 骨格筋 PGC1 α の発現増加によるアミノ酸動態と血液中の代謝産物の変化, 日本アミノ酸学会 第 19 回学術大会, 愛知 (2025 年 11 月)
3. 木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 大藪葵, 三浦進司, 亀井康富. 骨格筋において転写共役因子 PGC1 α は脂肪合成酵素 Dgat2 の遺伝子発現を増加させる, 第 64 回 日本栄養・食糧学会 近畿支部大会, 大阪 (2025 年 11 月)
4. 吉岡潔志, 杉本拓海, 大藪葵, 伊藤尚基, 亀井康富, 今井眞一郎. ヒト血漿由来 NMN 合成酵素 eNAMPT 投与によるマウス脳・視床下部への作用 -抗老化医療への応用を目指して-, 第 30 回日本基礎理学療法学会学術大会, 大分 (2025 年 10 月)
5. 佐藤友紀, 桑原菜緒, 馬込千帆, 妹尾奈波, 古谷亮太, 田村優樹, 三好規之, 杉本拓海, 亀井康富, 佐々木雄彦, 佐々木純子, 進藤英雄, 清水孝雄, 三浦進司. 持久運動トレーニング×リノール酸摂取による相乗的な骨格筋リン脂質クオリティ変化と持久運動能力の向上, 第 72 回 中部日本生理学会, 静岡 (2025 年 10 月)
6. 木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 大藪葵, 三浦進司, 亀井康富. 転写共役因子 PGC1 α は骨格筋において脂肪合成酵素 Dgat2 の遺伝子発現を増加させる, 日本農芸化学会 2025 年度 関西・中四国・西日本支部合同大会, 岡山 (2025 年 9 月)
7. 石上まりの, 堀尾郷介, 北辻耕司, 水上健一, 杉本拓海, 田中守, 甲田道子. 運動前の糖質摂取が大学サッカー選手のパフォーマンスおよび主観的疲労感に及ぼす影響, 第 72 回 日本栄養改善学会学術総会, 東京 (2025 年 9 月)
8. 杉本拓海, 吉井雅恵, 桑野彬加, 大瀬若葉. アマチュア社会人フットサル選手における食意識と食習慣の実態, 日本スポーツ栄養学会 第 11 回大会, 福岡 (2025 年 8 月)

9. 石上まりの, 堀尾郷介, 北辻耕司, 水上健一, 杉本拓海, 田中守, 甲田道子. 糖質摂取量の違いが大学サッカー選手のパフォーマンスに与える影響について, 日本スポーツ栄養学会 第 11 回大会, 福岡 (2025 年 8 月)
10. 磯野広美, 中石愛里奈, 前川桃葉, 佐藤桃子, 米倉夏央, 杉本拓海, 岡村美佳. カバディ日本代表強化指定選手における増量を目的としたスポーツ栄養マネジメント, 日本スポーツ栄養学会 第 11 回大会, 福岡 (2025 年 8 月)
11. 米倉夏央, 佐藤桃子, 杉本拓海, 岡村美佳. スピードクライミング選手における筋肉量増加を目的としたスポーツ栄養サポート, 日本スポーツ栄養学会 第11回大会, 福岡 (2025年8月)
12. 佐藤桃子, 石上まりの, 森永うらら, 杉本拓海. ご飯量のコントロールを行うことによる増量を目的としたスポーツ栄養マネジメント, 日本スポーツ栄養学会 第11回大会, 福岡 (2025年8月)
13. Takumi Sugimoto, Tokushi Kimura, Mamoru Oyabu, Ran Uchitomi, Shiho Nakai, Yasutomi Kamei. The transcriptional co-activator PGC1 α in skeletal muscle mediates the anti-obesity effects of soy isoflavones, 23rd International Congress of Nutrition (ICN) 2025 in Paris, Paris, France (August 2025)
14. 杉本拓海, 坪井知恵, 関川達志, 横山さや香, 安藤拓海, 田中守, Xiaohua Lyu, 横山信治, Rui Lu. 中国四川省の微生物発酵茶による動脈硬化抑制の作用機序の解明, 第 79 回 日本栄養・食糧学会大会, 愛知 (2025 年 5 月)
15. 木村徳士, 杉本拓海, 酒巻千広, 三浦進司, 亀井康富. 骨格筋における転写共役因子 PGC1 α の新規標的遺伝子の探索, 第 79 回 日本栄養・食糧学会大会, 愛知 (2025 年 5 月)

【その他報告書】

1. 吉岡潔志, 杉本拓海, 大藪葵, 伊藤尚基, 亀井康富, 今井眞一郎. ヒト血漿由来 NMN 合成酵素 eNAMPT 投与によるマウス脳・視床下部への作用 -抗老化医療への応用を目指して-, 基礎理学療法学, 28(suppl): 146-146. (2025 年 12 月)
2. 杉本拓海. お腹が空いたらチャンス! みんなができる最強サポート “補食”, Jr. Athlete Shizuoka, 株式会社ダイワジュニアアスリート静岡編集部, (2025 年 8 月)

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康長寿研究センター運営会議委員
2. 図書館運営本部委員
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 包括的連携料理教室担当 (学部)
5. 学部報編集委員 (学部)
6. リ・デザインプロジェクト担当 (学部)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養士会会員
2. 高知県栄養士会会員
3. 日本スポーツ栄養学会会員

4. 日本栄養・食糧学会会員
5. 日本農芸化学会会員
6. 日本アミノ酸学会会員
7. 第 58 回 日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会実行委員会 実行委員
8. 日本農芸化学会 2026 年度京都大会 プログラム実行委員

【講演・講習会】

1. 宿毛高校 出前講座 講師 「部活の試合で負けない体作りについて一補食編一」(2025 年 12 月 22 日)
2. 中学サッカークラブチーム 講師 「食べ方で変わる！最高のパフォーマンスの作り方～持久力・筋肉力の向上、コンディショニングの調整～」(2025 年 7 月 13 日)
3. 中学サッカークラブチーム 講師 「2 年間の成長を確かめる総復習とこれからの夏に向けて一水分補給の大切さ一」(2025 年 5 月 11 日)

【その他】

1. Scientific Reports 査読 (2025 年 4 月～5 月)
2. Scientific Reports 査読 (2025 年 8 月～11 月)
3. みんなでサロン 栄養相談・栄養教育担当 (2025 年 7 月 5 日、10 月 25 日)
4. 健康長寿研究センター事業 つながる保健室 in 四万十町 栄養相談担当 (2025 年 9 月 26 日)
5. 健康長寿研究センター事業 つながる保健室 健康まつり ストレスチェック担当 (2025 年 10 月 5 日)
6. 高知医療センター・高知県立大学包括連携事業 生活習慣病予防のための料理教室 料理補助 (2025 年 11 月 29 日)
7. 健康長寿研究センター事業 つながる保健室 第 14 回みさとフェア 災害食紹介担当 (2025 年 11 月 30 日)
8. 中学サッカークラブチームへの栄養サポート (～2026 年 3 月 31 日)
9. 女子ジュニアサッカー選手への栄養サポート (～2026 年 3 月 31 日)
10. 男子高校ボクシング選手への栄養サポート (2026 年 1 月 24 日～3 月 31 日)

IV. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究 令和 7 年度（新規） 「骨格筋由来サイトカインによる他臓器への影響の解明」 研究代表者 1,400 千円（令和 7 年度分）
2. 2025 年度 第 1 回 日本栄養・食糧学会 学術基金 国際交流助成, 300 千円

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・生化学Ⅱ（オムニバス）
- ・地域学実習Ⅰ
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ（一部担当）
- ・臨床栄養学実習Ⅰ（補助）
- ・臨床栄養学臨地実習Ⅰ（補助）
- ・健康栄養学応用（オムニバス）
- ・専門職連携論（オムニバス）
- ・生体科学実験・実習（一部担当/一部補助）
- ・生化学実験（補助）
- ・臨床栄養学実習Ⅱ（補助）
- ・臨床栄養学臨地実習Ⅱ（補助）

II. 研究活動

【学会発表】

1. 山岡伸. 海塩と比較して山塩がマウスの血圧にもたらす影響, 第79回日本栄養・食糧学会大会, 愛知 (2025年5月)
2. 山岡伸. 日本食品標準成分表2020年版(八訂)の2025年4月時点での研究への活用の調査, 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知 (2025年6月)

【その他】

1. 山岡伸. (2025) 災害時に緊急的に飲料水を確保するために雪解け水を摂取するための方法の検討. 食生活研究 45(5), 59-63.

III. 委員会活動

1. 健康管理センター運営委員会
2. 国家試験対策委員会（学部）
3. 臨地実習委員会（学部）
4. 包括的連携：料理教室担当（学部）
5. 親交会（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本食品科学工学会会員
4. 日本災害食学会会員
5. 日本運動処方学会会員
6. 日本環境科学学会会員
7. 日本栄養士会会員
8. 第58回日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会実行委員会, 実行委員

【その他】

1. とさのだしフェス第5節 高知県立大学ブース, 運営

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学実習Ⅰ
- ・調理学実習Ⅱ
- ・調理学実習Ⅲ
- ・調理科学実験
- ・生体科学実験・実習
- ・土佐の食と健康（ゲストスピーカー）

II. 研究活動

【学会発表】

1. 田中千尋、隅田有公子、竹本和仁、井治賢希、彼末富貴、渡邊浩幸. 食でつながる集いの場づくりを目指す実践活動報告. 第10回日本栄養改善学会四国支部学術総会, 高知(2025. 6. 21)

III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員
3. 学部就職支援委員
4. リ・デザインプロジェクト担当

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 高知市春野郷土資料館運営審議会委員 | 6. よい食生活をすすめるネットワーク役員 |
| 2. 高知市観光振興計画推進委員会 | 7. 社団法人日本調理科学会会員 |
| 3. 高知市文化振興審議会委員 | 8. 日本栄養改善学会会員 |
| 4. 土佐の料理伝承人選定委員 | 9. 社団法人日本家政学会会員 |
| 5. 土佐伝統食研究会会員 | 10. 公益社団法人日本栄養士会会員 |
| 11. 公益社団法人高知県栄養士会会員 | |
| 12. 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン日本栄養士会「未来に残すべき和食“日本人の伝統的な食文化”を持続可能な“The Future 50 Foods（未来の食材 50）”とともに継承プロジェクト」47都道府県栄養士会の「未来に残すべき和食」の高知県献立作成協力 | |

【講演・講習会等】

1. 栄養ケア・ステーション事業 こうちの食材を使った料理、伝統の郷土料理などを普及するための料理教室 講師 とさのさとキッチンプラス 2025年5月15日, 8月6日, 12月15日
2. 出前授業「土佐の伝統食について」講師 高知県立農業高校 2025年7月10日

3. 暮らしの植物教室「食からミョウガを知る～田舎寿司づくり～」講師 牧野植物園 2025年7月12日
4. 調理師試験準備講習会「食文化概論」講師 高知城ホール 2025年9月17日
5. 土佐の雑煮の学習 講師 潮江東小学校 2024年12月5日
6. ほっとうち「とさぶし」レシピ動画撮影協力 高知県立大学池キャンパス 2025年12月7日
7. こうちティーンズベースお菓子作り 講師 高知県立大学永国寺キャンパス 2026年1月23日
8. ソーレまつり「親子でご飯づくり」 講師 こうち男女共同参画センター「ソーレ」2026年1月25日

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第16号
令和7（2025）年度版

発行日：令和8年9月28日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話（088）847-8700（代）